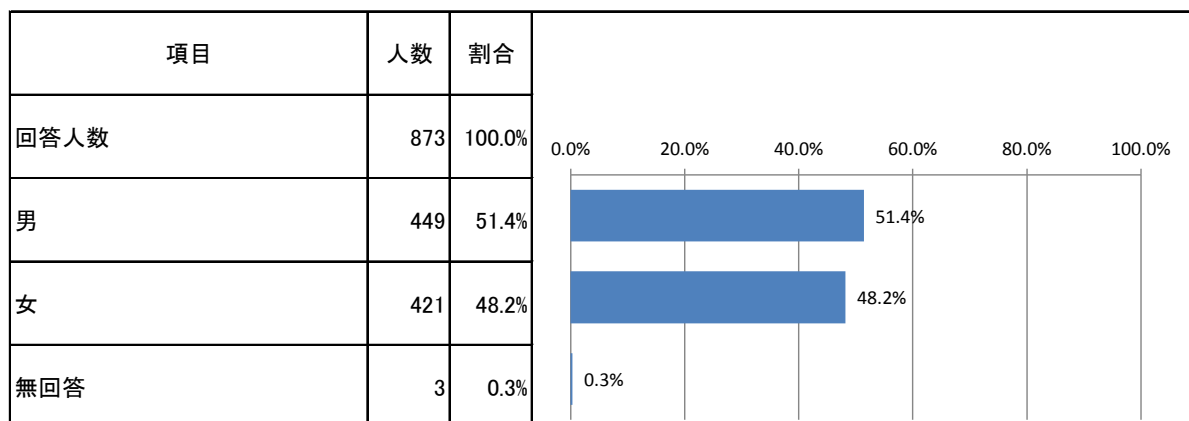


第2章 乳幼児

問1 対象のお子さんについてお聞きします。

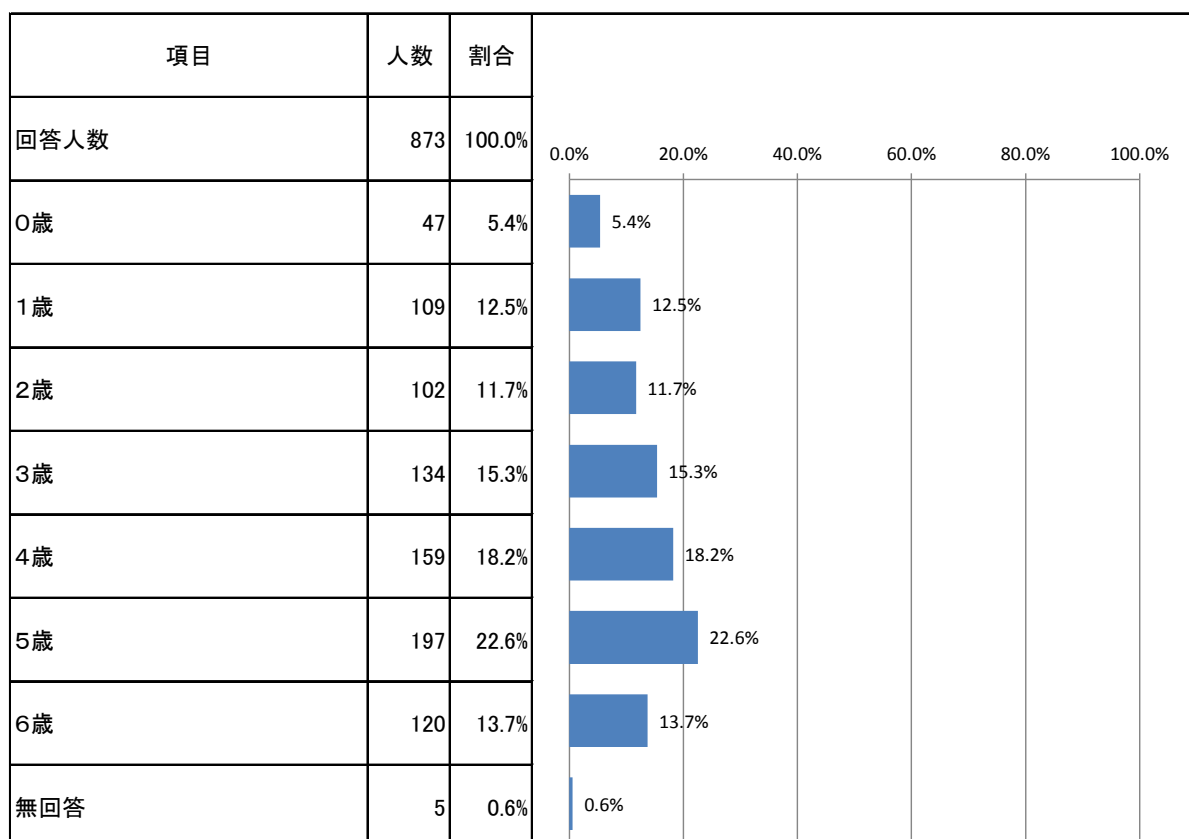
(1)① 対象（封書の宛名）のお子さんの性別

性別については、「男」が51.4%、「女」が48.2%となっている。



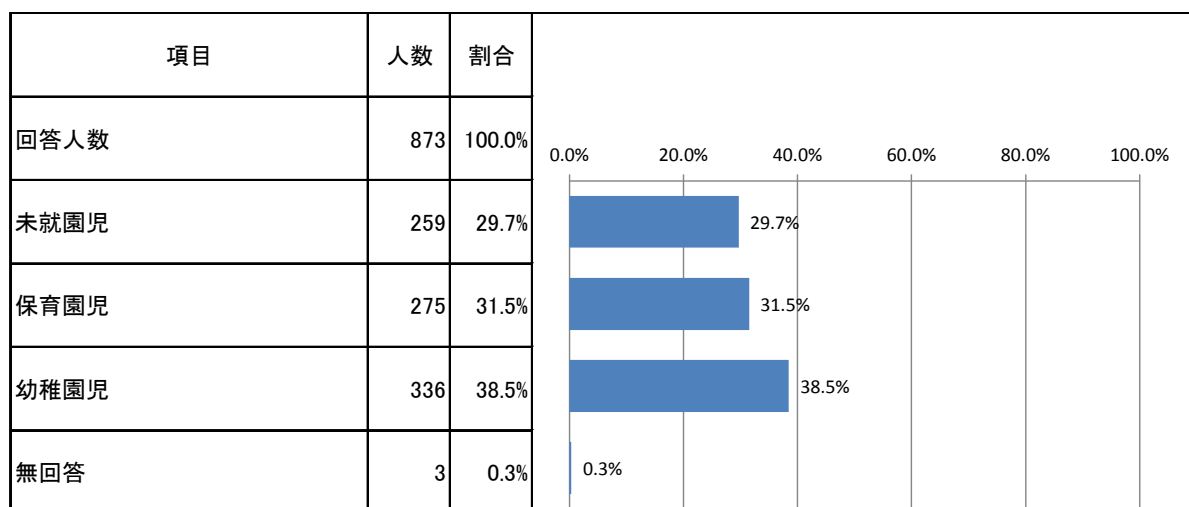
(1)② 対象（封書の宛名）のお子さんの年齢

年齢については、「5歳」が22.6%と最も多く、次いで「4歳」が18.2%、「3歳」が15.3%となっている。



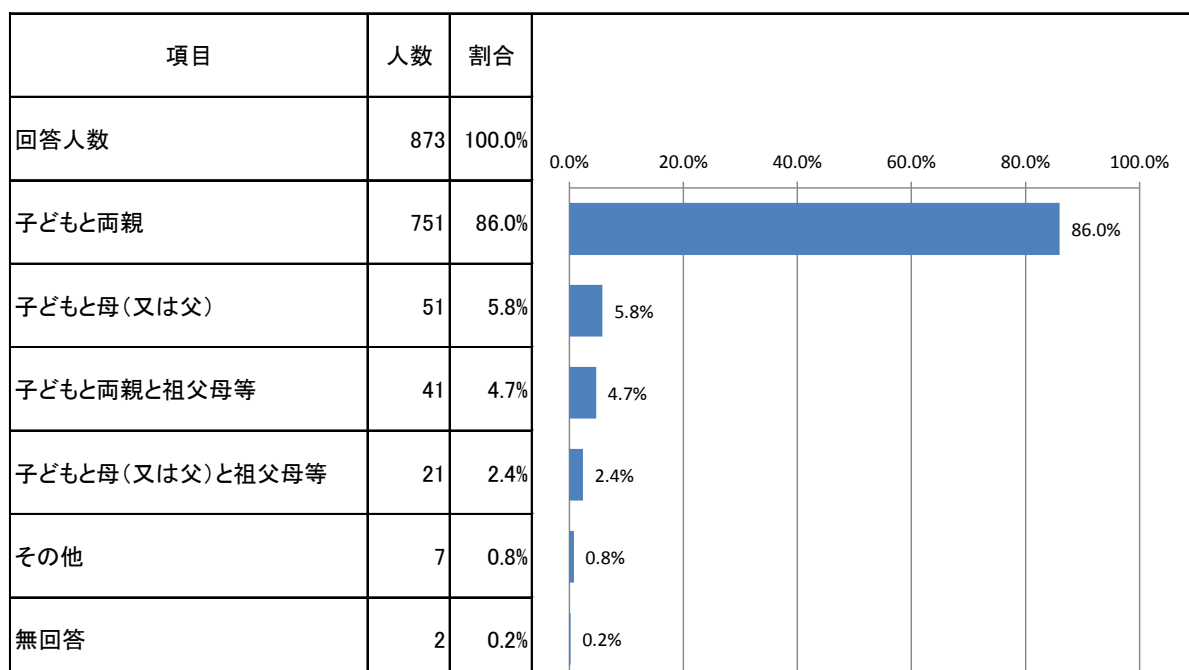
(2) 対象（封書の宛名）のお子さんの就園状況

就園状況については、「幼稚園児」が 38.5%と最も多く、次いで「保育園児」が 31.5%、「未就園児」が 29.7%となっている。



(3) 家族構成

家族構成については、「子どもと両親」が 86.0%と最も多く、次いで「子どもと母（又は父）」が 5.8%、「子どもと両親と祖父母等」が 4.7%となっている。

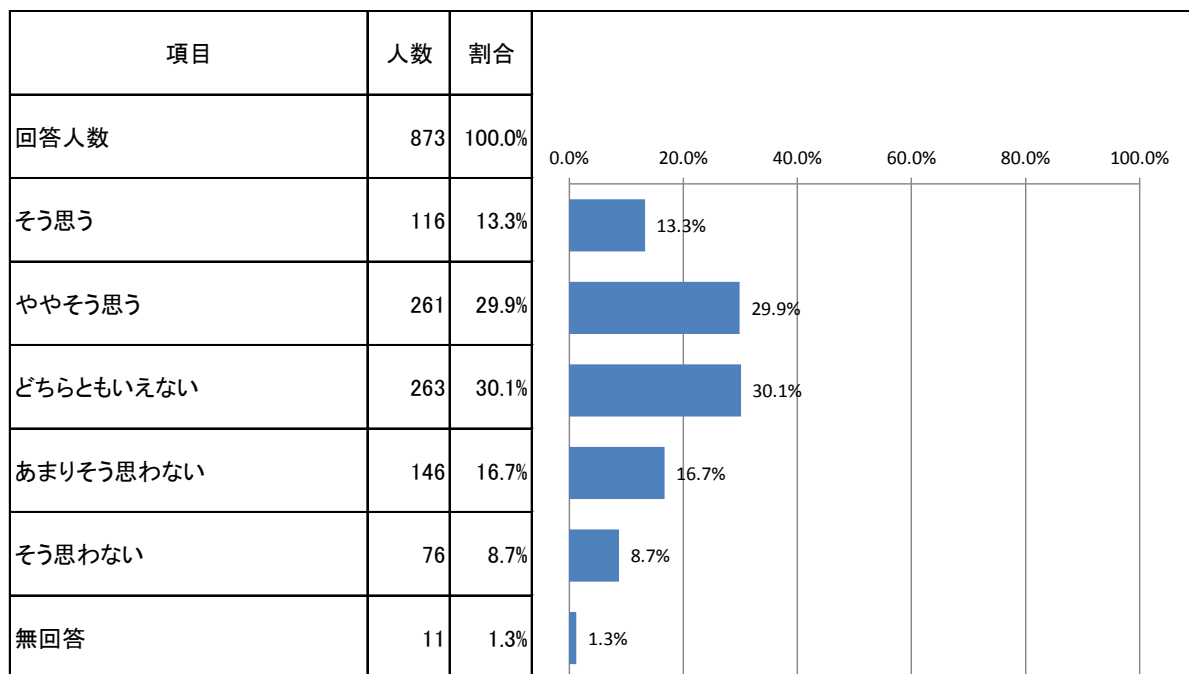


問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。（小学校区）

区分	人数	割合	区分	人数	割合
吉田小学校	2	0.2%	宇宿小学校	14	1.6%
本名小学校	4	0.5%	向陽小学校	10	1.1%
宮小学校	1	0.1%	伊敷小学校	9	1.0%
牟礼岡小学校	1	0.1%	花野小学校	4	0.5%
南方小学校	2	0.2%	西伊敷小学校	6	0.7%
郡山小学校	1	0.1%	伊敷台小学校	13	1.5%
川上小学校	2	0.2%	玉江小学校	14	1.6%
吉野小学校	160	18.3%	小山田小学校	1	0.1%
吉野東小学校	2	0.2%	犬迫小学校	1	0.1%
大明丘小学校	2	0.2%	東桜島小学校	4	0.5%
坂元小学校	6	0.7%	桜洲小学校	22	2.5%
坂元台小学校	16	1.8%	桜峰小学校	9	1.0%
清水小学校	26	3.0%	松元小学校	14	1.6%
大龍小学校	5	0.6%	東昌小学校	1	0.1%
名山小学校	2	0.2%	春山小学校	5	0.6%
山下小学校	5	0.6%	石谷小学校	6	0.7%
松原小学校	10	1.1%	谷山小学校	13	1.5%
城南小学校	11	1.3%	西谷山小学校	19	2.2%
草牟田小学校	10	1.1%	東谷山小学校	22	2.5%
原良小学校	20	2.3%	清和小学校	30	3.4%
明和小学校	7	0.8%	和田小学校	20	2.3%
武岡小学校	8	0.9%	錦江台小学校	14	1.6%
武岡台小学校	9	1.0%	福平小学校	11	1.3%
西田小学校	16	1.8%	平川小学校	1	0.1%
武小学校	15	1.7%	中山小学校	26	3.0%
田上小学校	9	1.0%	桜丘西小学校	8	0.9%
西陵小学校	12	1.4%	桜丘東小学校	6	0.7%
広木小学校	8	0.9%	星峯西小学校	22	2.5%
中洲小学校	3	0.3%	星峯東小学校	7	0.8%
荒田小学校	11	1.3%	宮川小学校	10	1.1%
八幡小学校	22	2.5%	皇徳寺小学校	11	1.3%
中郡小学校	14	1.6%	瀬々串小学校	4	0.5%
紫原小学校	12	1.4%	喜入小学校	6	0.7%
西紫原小学校	17	1.9%	分からない	29	3.3%
鴨池小学校	12	1.4%	無回答	2	0.2%
南小学校	16	1.8%	合計	873	100.0%

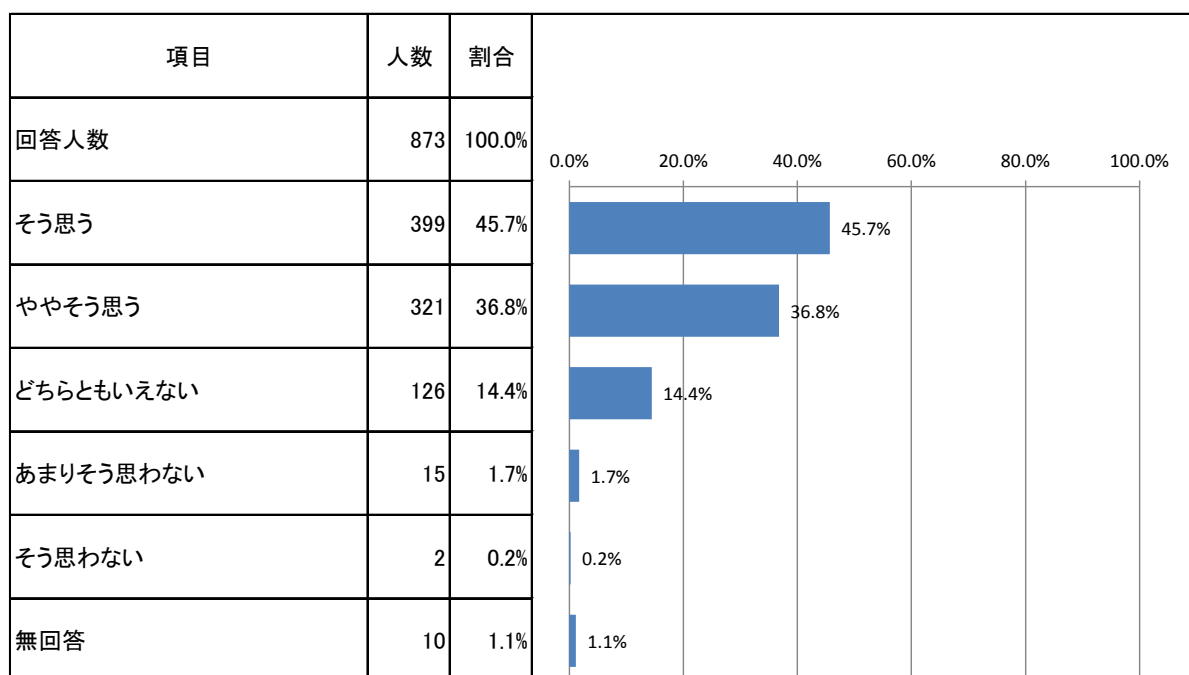
問3 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。（ひとつに○）

地域住民が一緒になって、地域課題に取り組んでいると思うことについては、「どちらともいえない」が30.1%と最も多く、次いで「ややそう思う」が29.9%、「あまりそう思わない」が16.7%となっている。



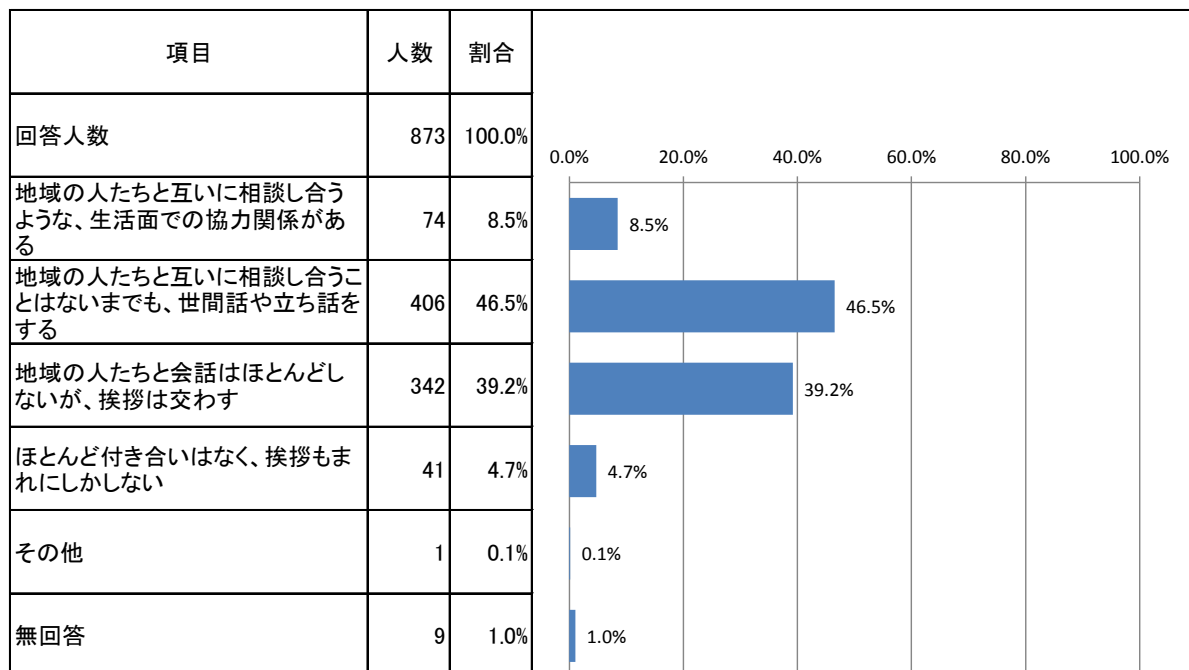
問4 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いますか。（ひとつに○）

地域住民が一緒になって、地域課題に取り組むことは重要だと思うことについては、「そう思う」が45.7%と最も多く、次いで「ややそう思う」が36.8%、「どちらともいえない」が14.4%となっている。



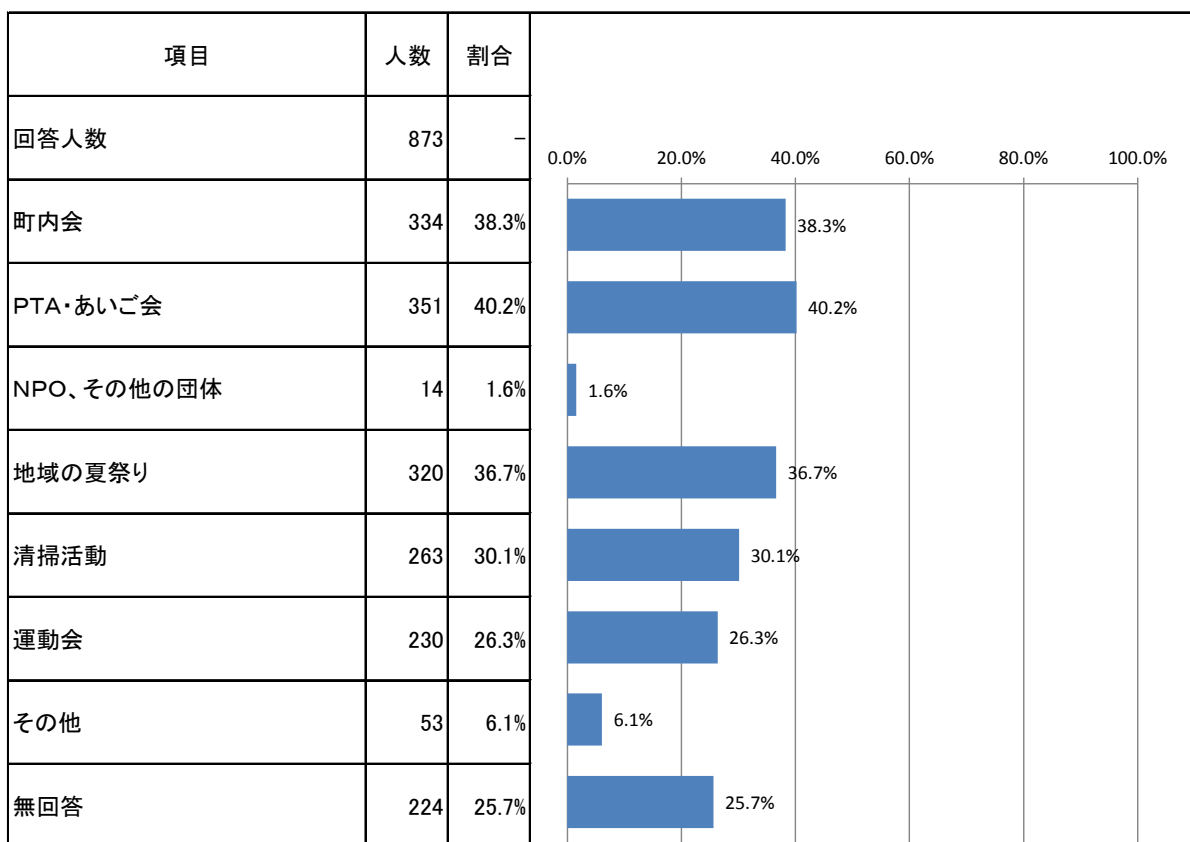
問5 あなた（保護者）は、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。
（ひとつに○）

地域の人たちとのコミュニケーションについては、「地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする」が 46.5%と最も多く、次いで「地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす」が 39.2%、「地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある」が 8.5%となっている。



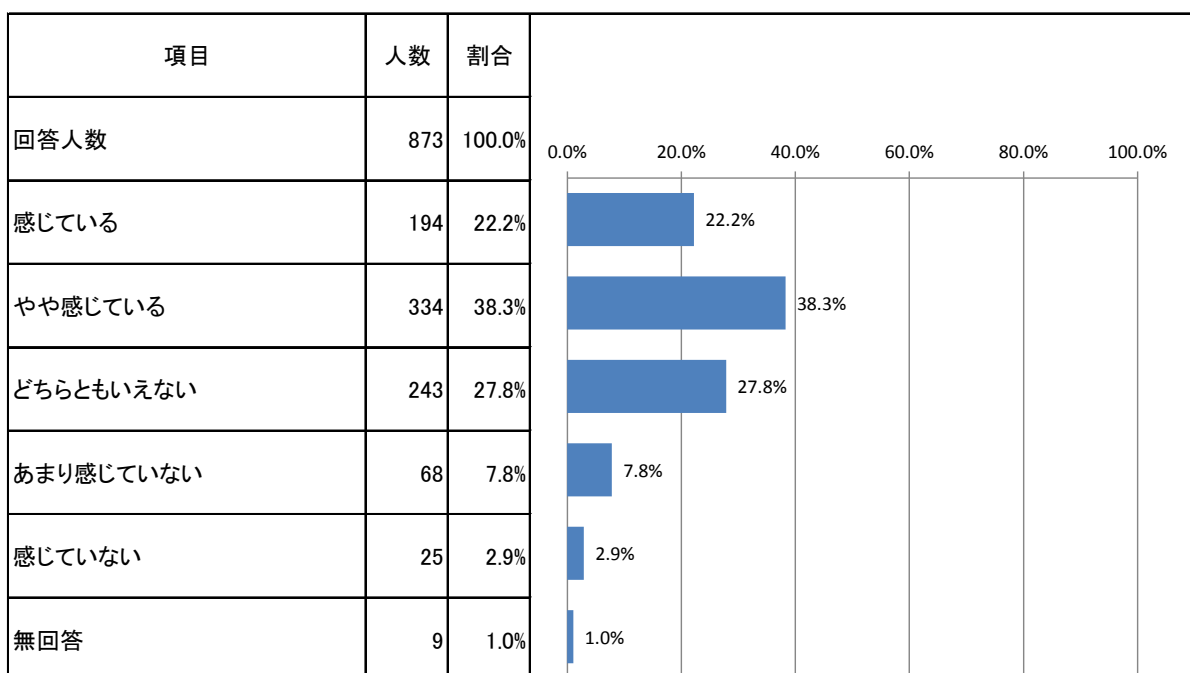
問6 あなた（保護者）は、地域活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

地域活動への参加については、「PTA・あいご会」が40.2%と最も多く、次いで「町内会」が38.3%、「地域の夏祭り」が36.7%となっている。



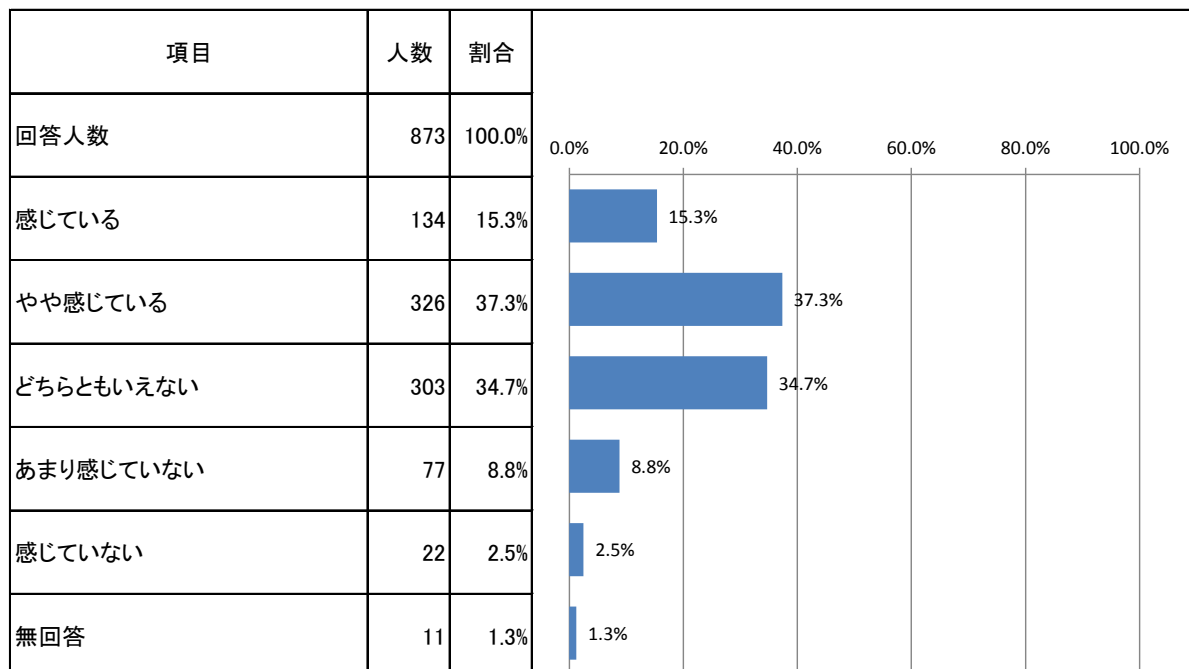
問7 あなたは、地域の暮らしに愛着を感じていますか。（ひとつに○）

地域の暮らしへの愛着度については、「やや感じている」が38.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.8%、「感じている」が22.2%となっている。



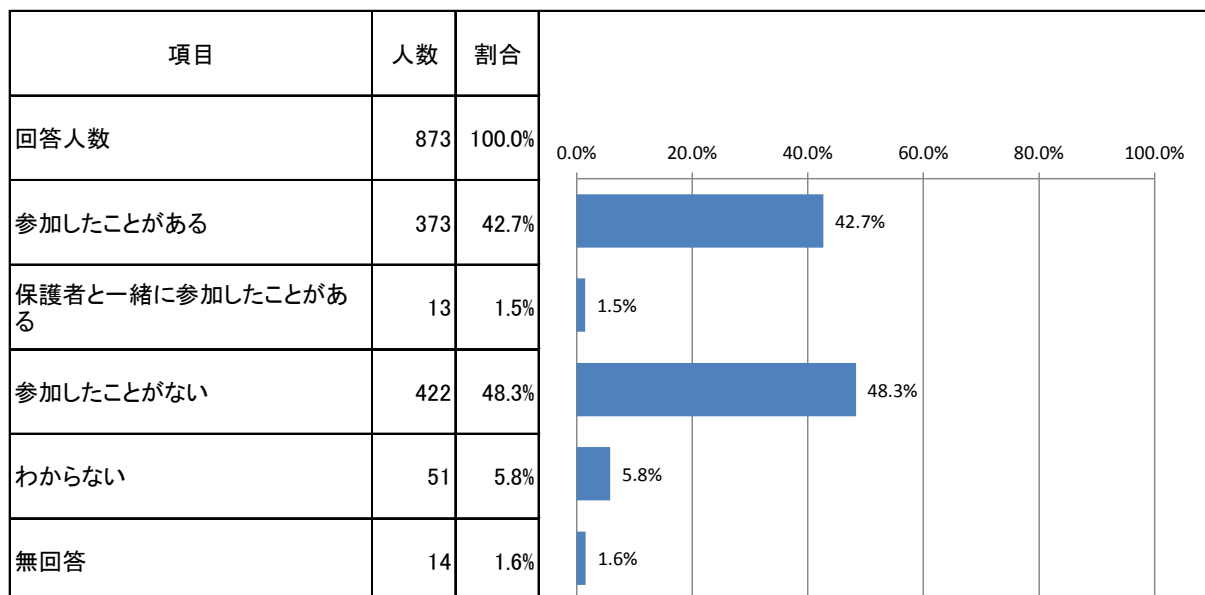
問8 あなたは、鹿児島市の暮らしに安心安全を感じていますか。(ひとつに〇)

鹿児島市の暮らしに安心安全を感じているかについては、「やや感じている」が37.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が34.7%、「感じている」が15.3%となっている。



問9 対象のお子さんは、この1年間（平成24年10月から平成25年9月まで）に交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。
（ひとつに○）

1年間の子どもの交通安全教室（講習会などを含む）参加状況については、「参加したことがない」が48.3%と最も多く、次いで「参加したことがある」が42.7%、「わからない」が5.8%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

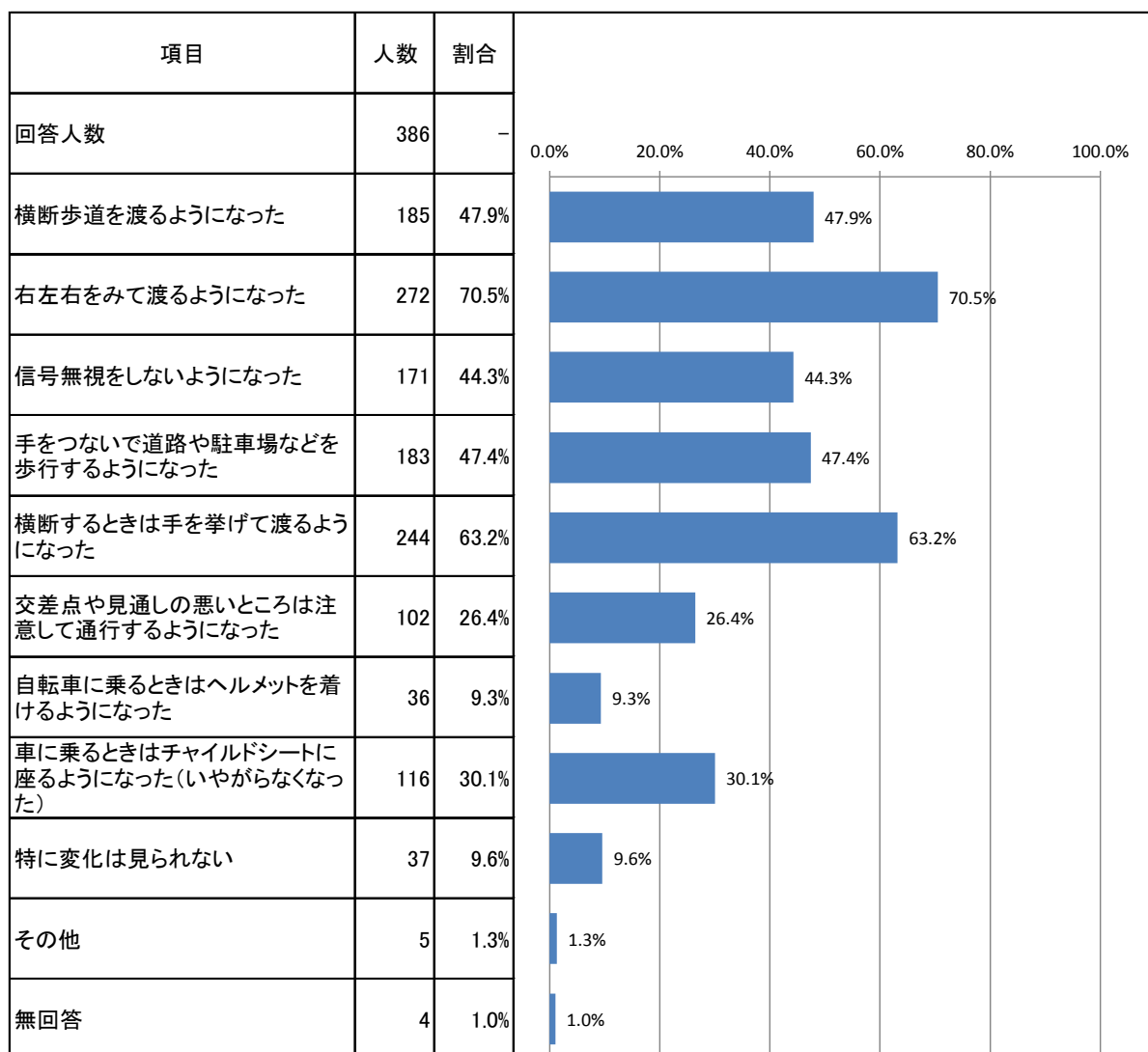
年齢別では、2歳以下では「参加したことがない」が89.1%、3歳以上では「参加したことがある」が58.7%と最も高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	873	100.0%	449	100.0%	421	100.0%	3	100.0%	258	100.0%	610	100.0%	5	100.0%
参加したことがある	373	42.7%	185	41.2%	187	44.4%	1	33.3%	13	5.0%	358	58.7%	2	40.0%
保護者と一緒に参加したことがある	13	1.5%	5	1.1%	8	1.9%	0	0.0%	3	1.2%	10	1.6%	0	0.0%
参加したことがない	422	48.3%	222	49.4%	198	47.0%	2	66.7%	230	89.1%	189	31.0%	3	60.0%
わからない	51	5.8%	31	6.9%	20	4.8%	0	0.0%	8	3.1%	43	7.0%	0	0.0%
無回答	14	1.6%	6	1.3%	8	1.9%	0	0.0%	4	1.6%	10	1.6%	0	0.0%

※問9で『①参加したことがある』、『②保護者と一緒に参加したことがある』とご回答された方にお聞きします。

問9-1 交通安全教室（講習会などを含む）に参加した後、対象のお子さんの行動に変化が見られたものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

交通安全教室（講習会などを含む）に参加した後、子どもに見られた行動の変化については、「右左右をみて渡るようになった」が70.5%と最も多く、次いで「横断するときは手を挙げて渡るようになった」が63.2%、「横断歩道を渡るようになった」が47.9%となっている。



【属性別特徴】

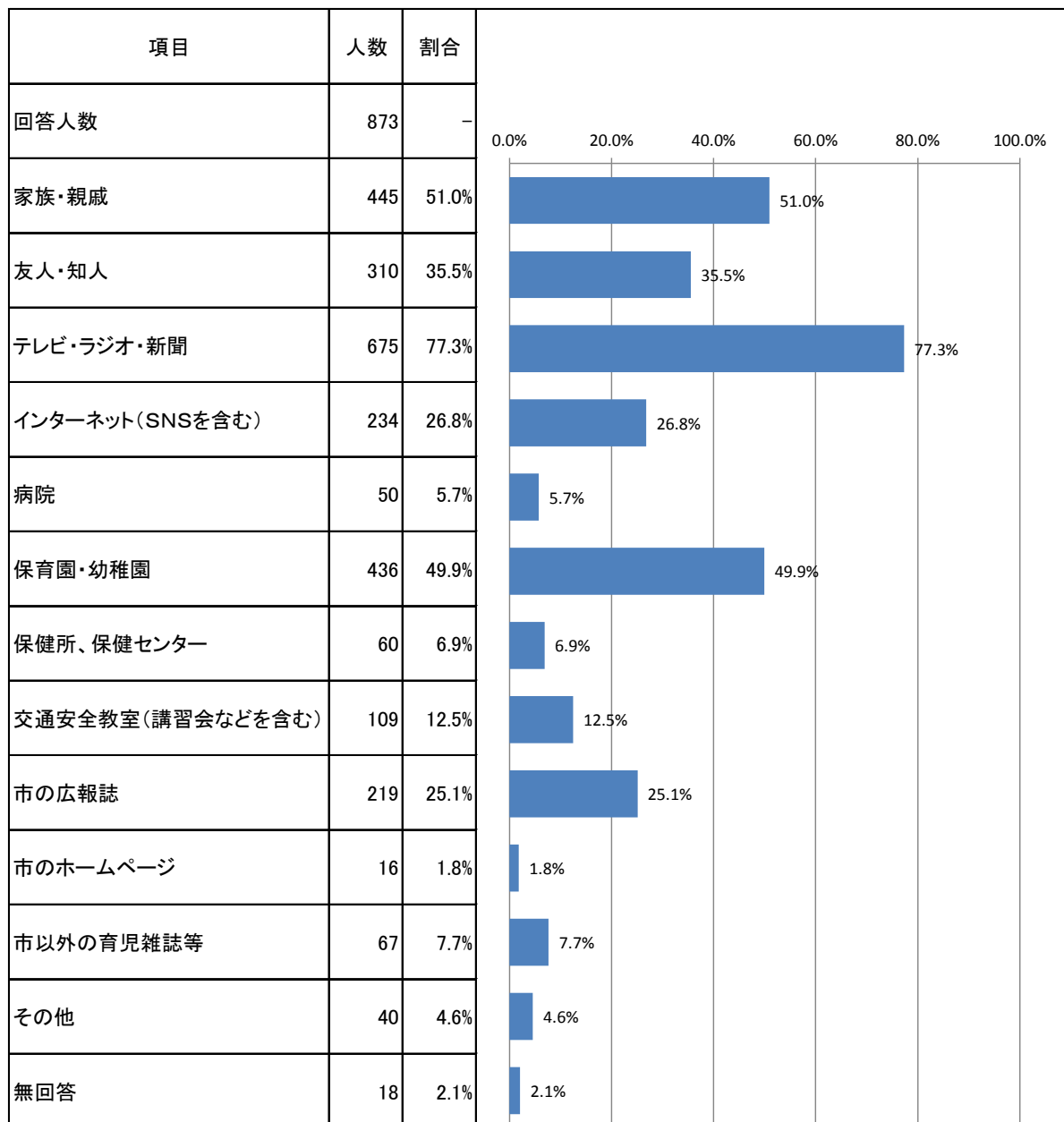
性別では、女の「車に乗るときはチャイルドシートに座るようになった（いやがらなくなった）」が33.3%で、男の26.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、2歳以下では「手をつないで道路や駐車場などを歩行するようになった」が50.0%、3歳以上では「右左右をみて渡るようになった」が72.3%と最も高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	386	-	190	-	195	-	1	-	16	-	368	-	2	-
横断歩道を渡るようになった	185	47.9%	94	49.5%	90	46.2%	1	100.0%	3	18.8%	180	48.9%	2	100.0%
右左右をみて渡るようになった	272	70.5%	133	70.0%	138	70.8%	1	100.0%	4	25.0%	266	72.3%	2	100.0%
信号無視をしないようになった	171	44.3%	82	43.2%	88	45.1%	1	100.0%	4	25.0%	165	44.8%	2	100.0%
手をつないで道路や駐車場などを歩行するようになった	183	47.4%	90	47.4%	92	47.2%	1	100.0%	8	50.0%	173	47.0%	2	100.0%
横断するときは手を挙げて渡るようになった	244	63.2%	118	62.1%	125	64.1%	1	100.0%	7	43.8%	235	63.9%	2	100.0%
交差点や見通しの悪いところは注意して通行するようになった	102	26.4%	46	24.2%	56	28.7%	0	0.0%	2	12.5%	99	26.9%	1	50.0%
自転車に乗るときはヘルメットを着けるようになった	36	9.3%	18	9.5%	18	9.2%	0	0.0%	0	0.0%	35	9.5%	1	50.0%
車に乗るときはチャイルドシートに座るようになった（いやがらなくなった）	116	30.1%	50	26.3%	65	33.3%	1	100.0%	5	31.3%	109	29.6%	2	100.0%
特に変化は見られない	37	9.6%	23	12.1%	14	7.2%	0	0.0%	4	25.0%	33	9.0%	0	0.0%
その他	5	1.3%	3	1.6%	2	1.0%	0	0.0%	2	12.5%	3	0.8%	0	0.0%
無回答	4	1.0%	1	0.5%	3	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.1%	0	0.0%

問10 あなた（保護者）は、交通安全に関する情報はなに（どこ）から得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

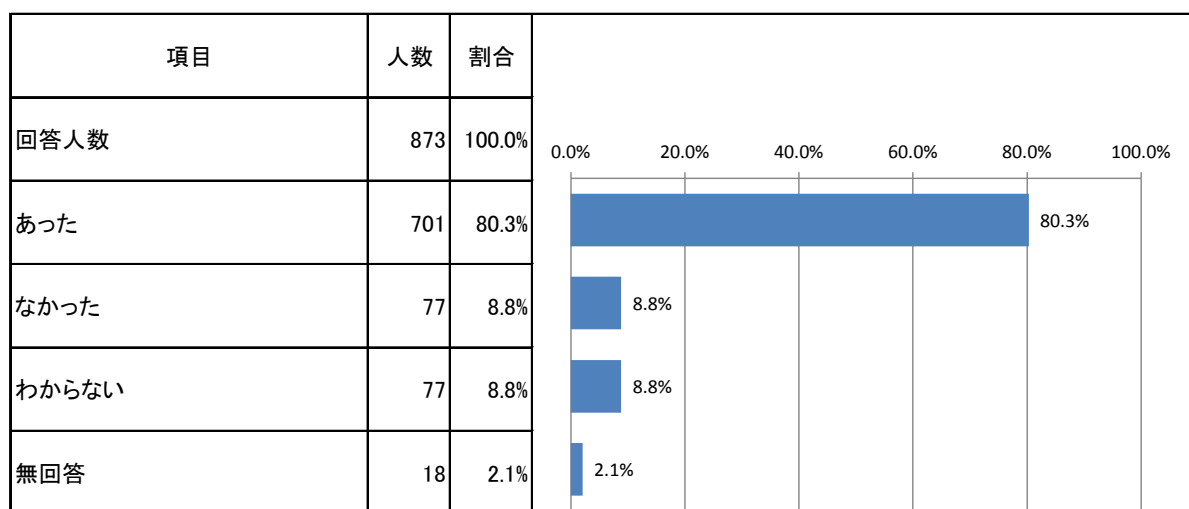
交通安全に関する情報源については、「テレビ・ラジオ・新聞」が77.3%と最も多く、次いで「家族・親戚」が51.0%、「保育園・幼稚園」が49.9%となっている。



問 11 問 10 の情報を得た後、交通安全に関して、あなた（保護者）は対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ひとつに〇）

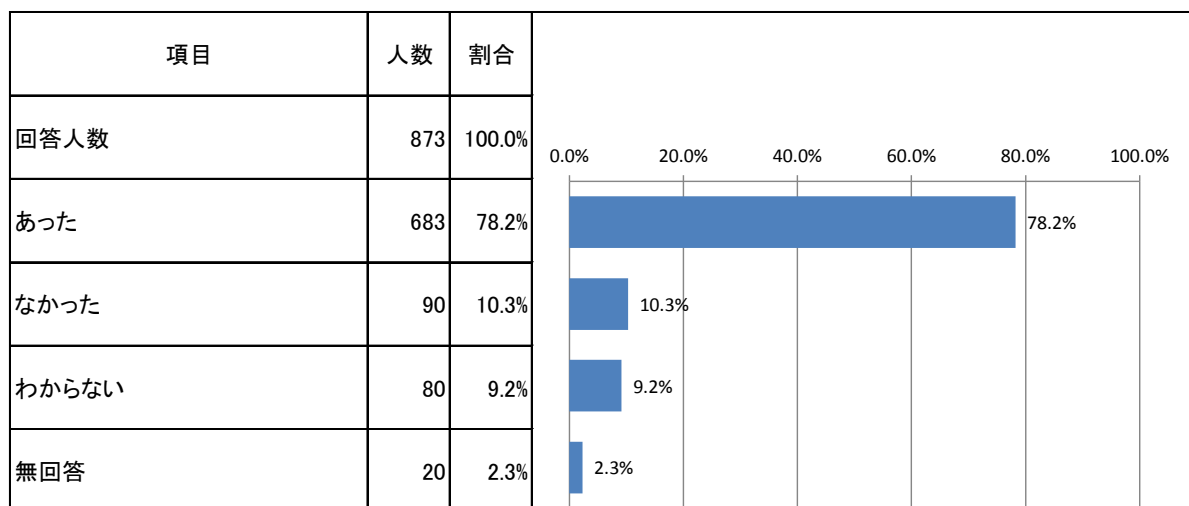
A 考え方の変化

交通安全に関する情報取得後、子どもに対する保護者の考え方の変化については、「あった」が80.3%と最も多く、次いで「なかった」、「わからない」が8.8%となっている。



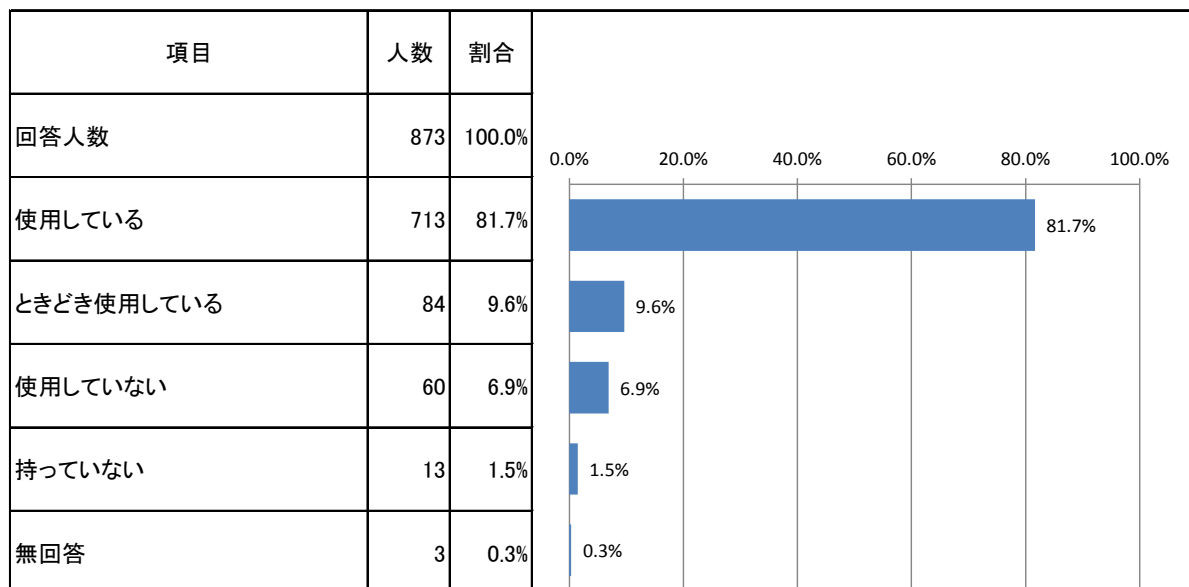
B 行動の変化

交通安全に関する情報取得後、子どもに対する保護者の行動の変化については、「あった」が78.2%と最も多く、次いで「なかった」が10.3%、「わからない」が9.2%となっている。



問 12 あなた（保護者）は、対象のお子さんが車に乗る際にチャイルドシートを使用していますか。（ひとつに〇）

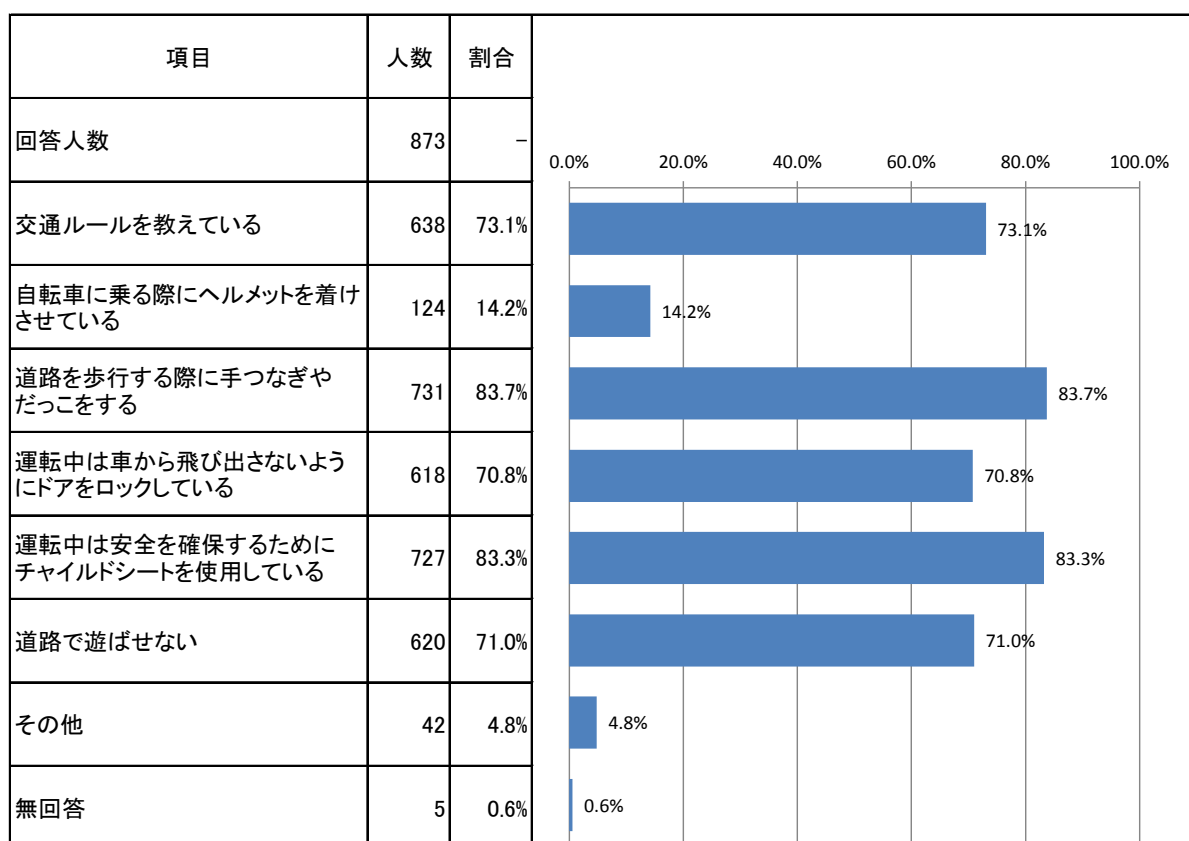
チャイルドシートの使用頻度については、「使用している」が 81.7%と最も多く、次いで「ときどき使用している」が9.6%、「使用していない」が6.9%となっている。



問 13 あなた（保護者）は、日頃から対象のお子さんのためにどのような交通安全対策をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

日頃の交通安全対策については、「道路を歩行する際に手つなぎやだっこをする」が 83.7%と最も多く、次いで「運転中は安全を確保するためにチャイルドシートを使用している」が 83.3%、「交通ルールを教えている」が 73.1%となっている。

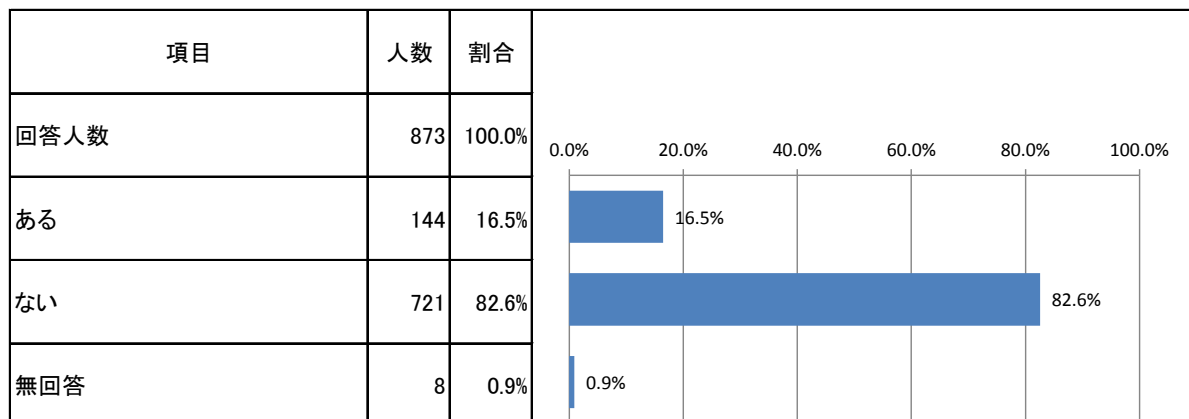
「その他」の具体的な内容としては「危険性のある所をその都度教えている」、「交通安全に関する絵本を読んであげている」、「駐車場で遊ばせない」等が挙げられた。



【乳幼児】

問 14 車内で対象のお子さんがけがをしたまたは危険な目にあったことがありますか。(ひとつに○)

自動車内で子どもがけがをしたまたは危険な目にあったことについては、「ある」が16.5%、「ない」が82.6%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、3歳以上の「ある」が18.9%で、2歳以下の11.2%に比べてやや高くなっている。

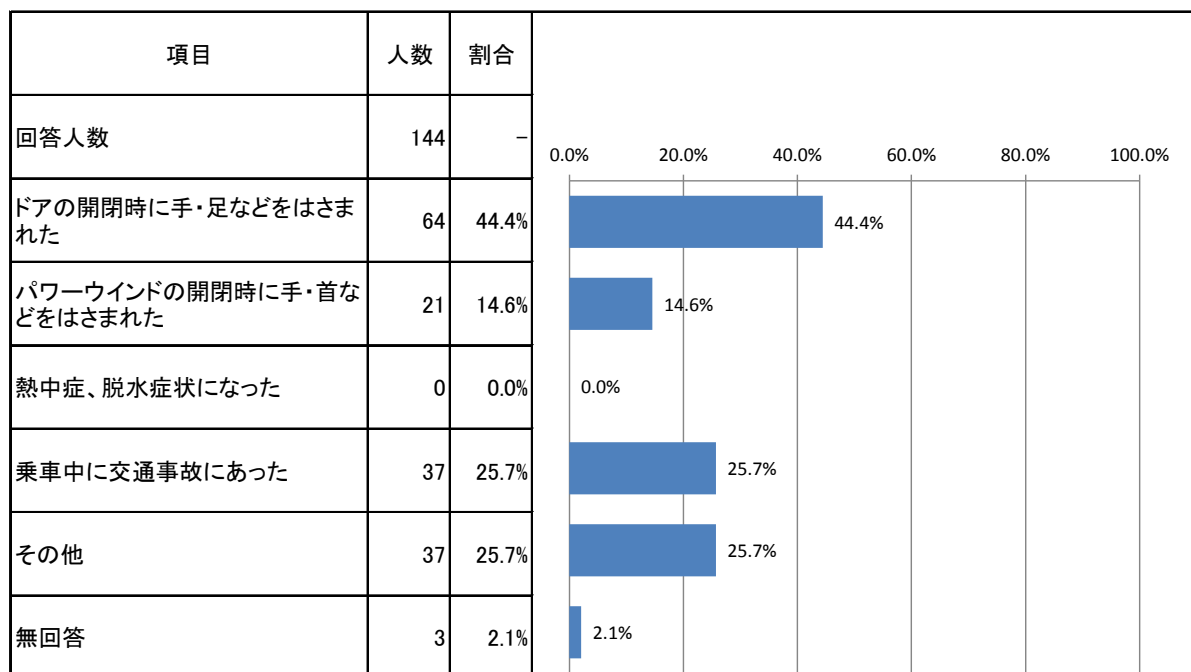
項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	873	100.0%	449	100.0%	421	100.0%	3	100.0%	258	100.0%	610	100.0%	5	100.0%
ある	144	16.5%	78	17.4%	66	15.7%	0	0.0%	29	11.2%	115	18.9%	0	0.0%
ない	721	82.6%	367	81.7%	351	83.4%	3	100.0%	227	88.0%	489	80.2%	5	100.0%
無回答	8	0.9%	4	0.9%	4	1.0%	0	0.0%	2	0.8%	6	1.0%	0	0.0%

【乳幼児】

※問 14 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 14-1 どんな状況でしたか。(あてはまるものすべてに○)

自動車内で子どもが経験した危険な状況については、「ドアの開閉時に手・足などをはさまれた」が 44.4%と最も多く、次いで「乗車中に交通事故にあった」が 25.7%、「パワーウインドの開閉時に手・首などをはさまれた」が 14.6%となっている。「その他」の具体的な内容としては、「急ブレーキでひっくり返った」等が挙げられた。



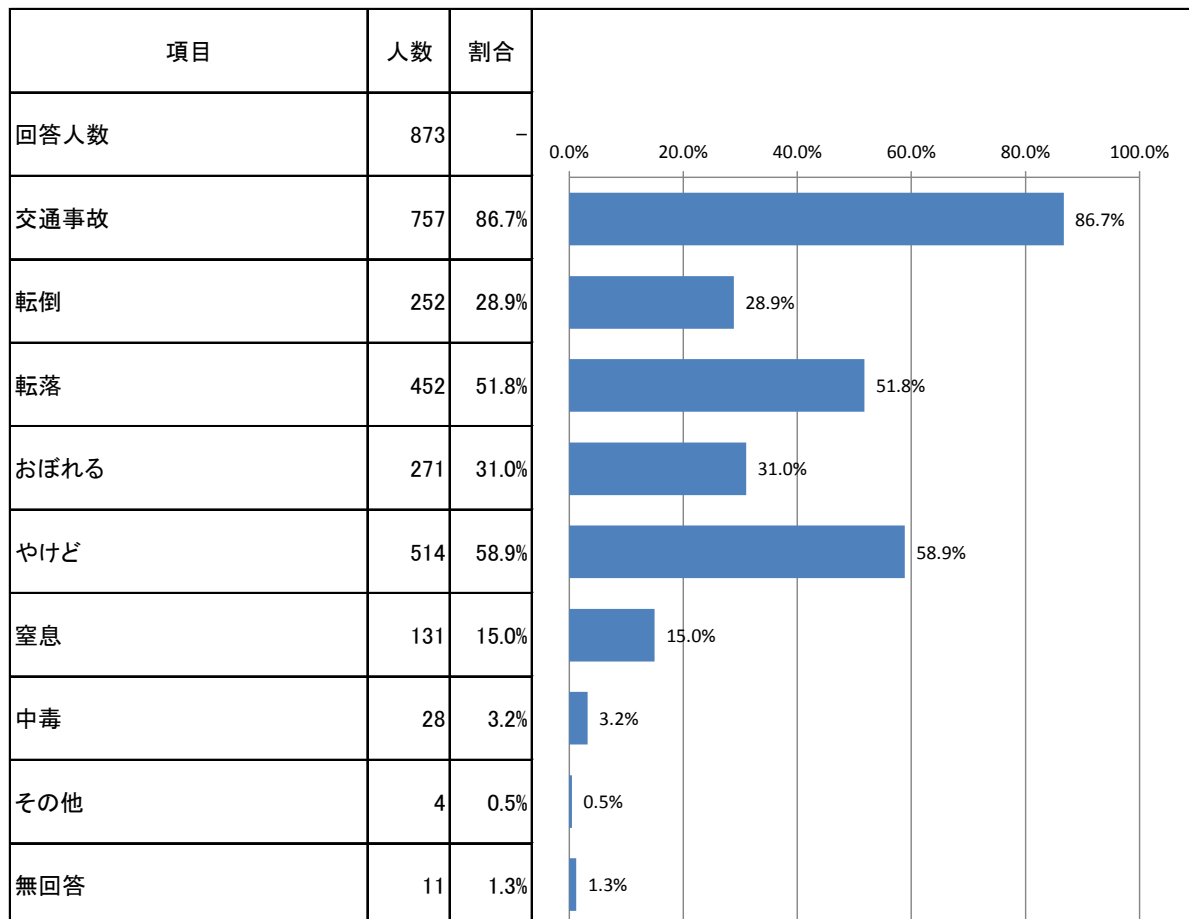
【属性別特徴】

性別では、男の「ドアの開閉時に手・足などをはさまれた」が 52.6%で、女の 34.8%と比べて高くなっている。年齢別では、3歳以上の「ドアの開閉時に手・足などをはさまれた」が 48.7%で、2歳以下の 27.6%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	144	-	78	-	66	-	0	-	29	-	115	-	0	-
ドアの開閉時に手・足などをはさまれた	64	44.4%	41	52.6%	23	34.8%	0	0.0%	8	27.6%	56	48.7%	0	0.0%
パワーウインドの開閉時に手・首などをはさまれた	21	14.6%	14	17.9%	7	10.6%	0	0.0%	5	17.2%	16	13.9%	0	0.0%
熱中症、脱水症状になった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
乗車中に交通事故にあった	37	25.7%	17	21.8%	20	30.3%	0	0.0%	6	20.7%	31	27.0%	0	0.0%
その他	37	25.7%	14	17.9%	23	34.8%	0	0.0%	13	44.8%	24	20.9%	0	0.0%
無回答	3	2.1%	1	1.3%	2	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.6%	0	0.0%

問 15 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれる、やけど、窒息、中毒などをいいますが、対象のお子さんに対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。（3つまで○）

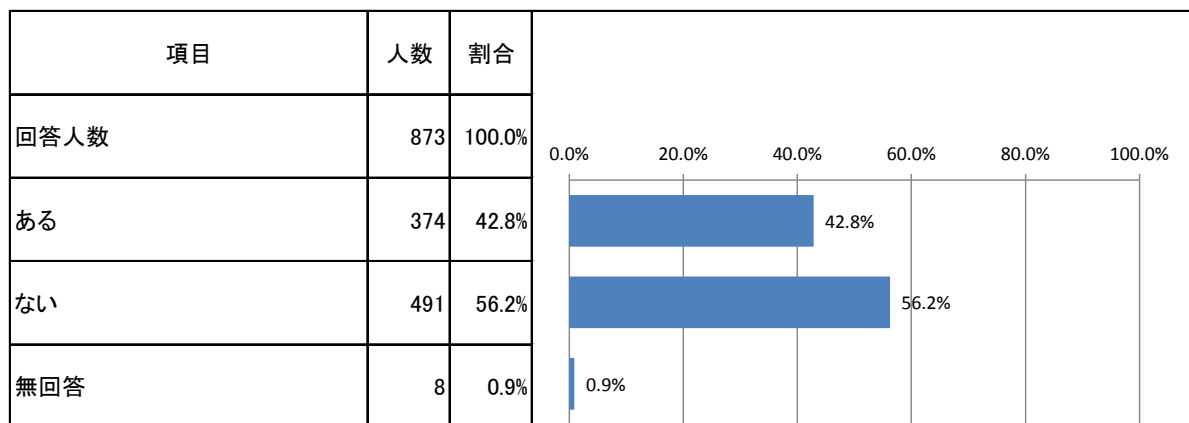
特に注意している不慮の事故については、「交通事故」が86.7%と最も多く、次いで「やけど」が58.9%、「転落」が51.8%となっている。



【乳幼児】

問 16 対象のお子さんが、この1年間（平成24年10月から平成25年9月まで）にもう少して「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとしたことはありますか。（ひとつに〇）

「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとした経験については、「ある」が42.8%、「ない」が56.2%となっている。



【属性別特徴】

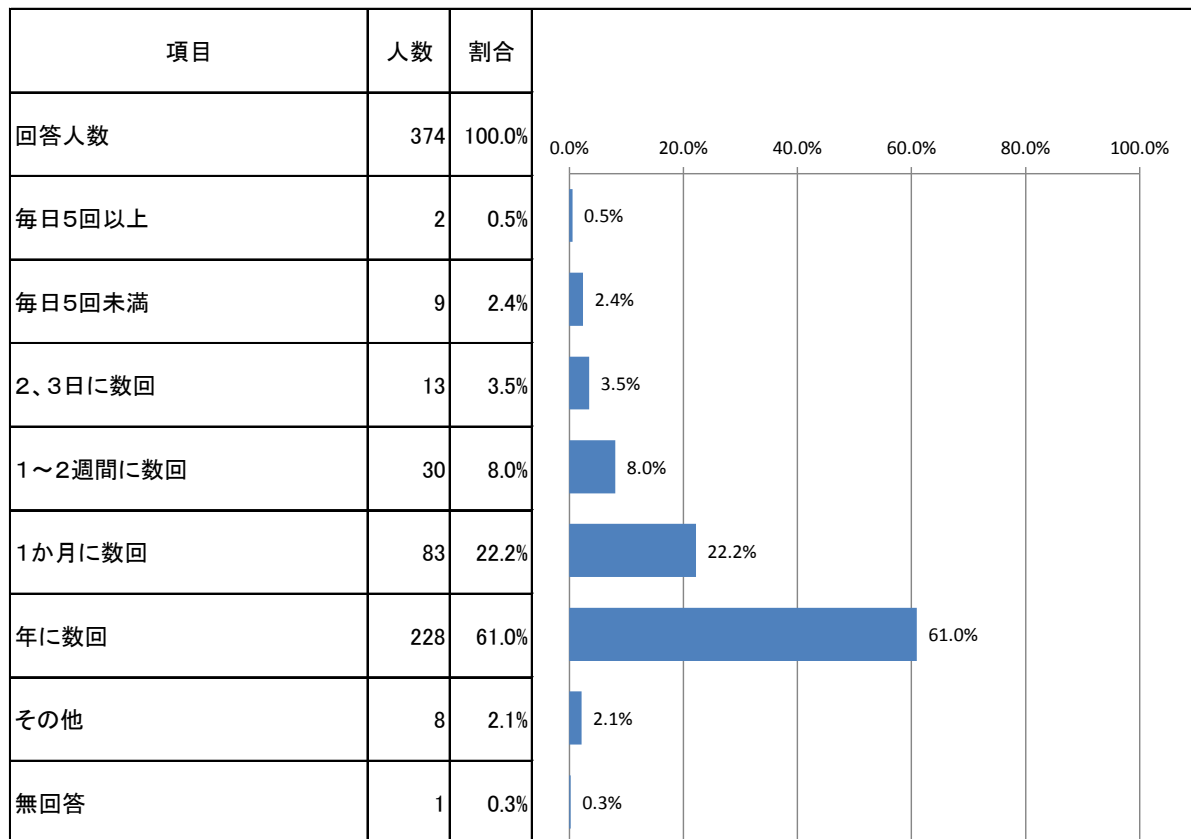
性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	873	100.0%	449	100.0%	421	100.0%	3	100.0%	258	100.0%	610	100.0%	5	100.0%
ある	374	42.8%	195	43.4%	177	42.0%	2	66.7%	118	45.7%	254	41.6%	2	40.0%
ない	491	56.2%	251	55.9%	239	56.8%	1	33.3%	138	53.5%	350	57.4%	3	60.0%
無回答	8	0.9%	3	0.7%	5	1.2%	0	0.0%	2	0.8%	6	1.0%	0	0.0%

※問 16 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

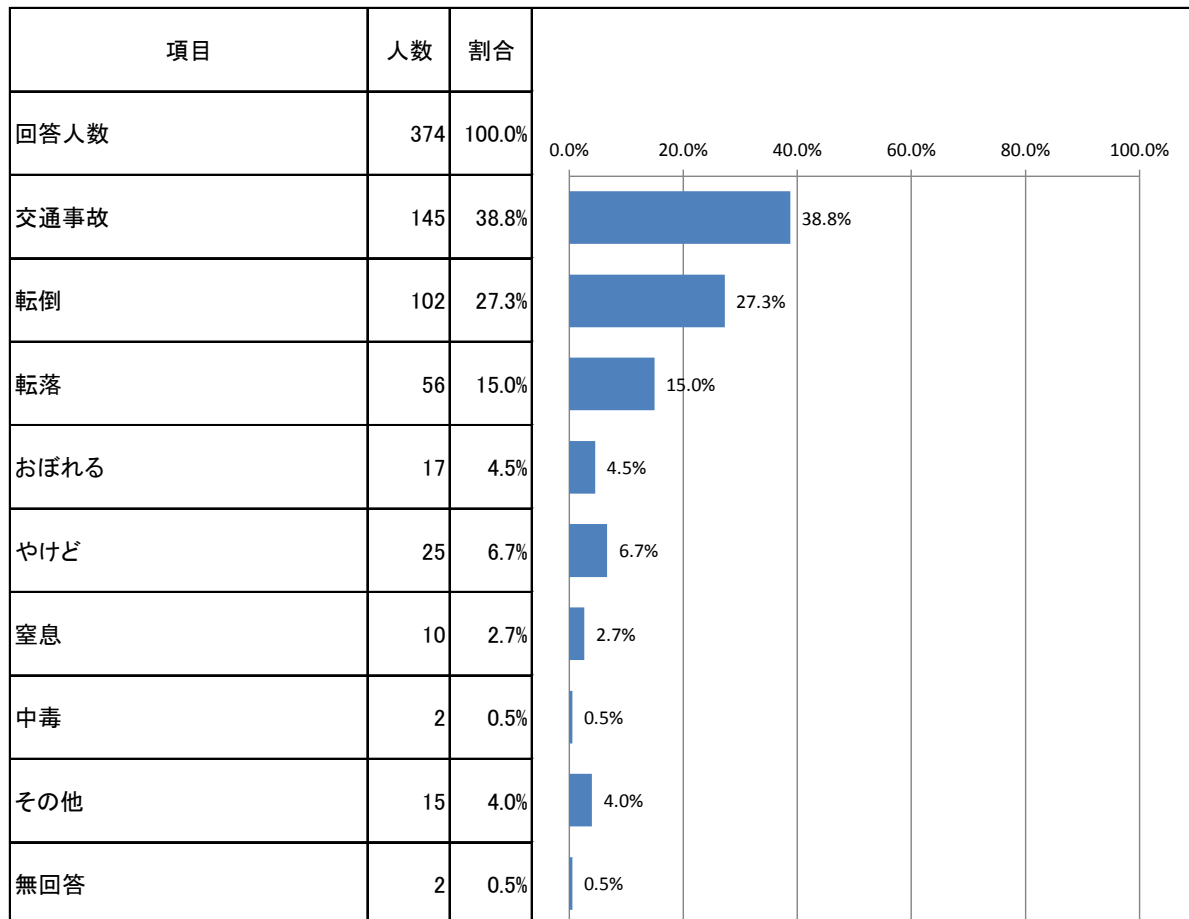
問 16-1 この1年間に対象のお子さんでヒヤリとしたことはどのくらいの頻度
 ありますか。(一番近いものひとつに○)

1年間、子どもでヒヤリとした頻度については、「年に数回」が61.0%と最も多く、
 次いで「1か月に数回」が22.2%、「1～2週間に数回」が8.0%となっている。



問 16-2 この1年間に対象のお子さんで一番多くヒヤリとした体験は何ですか。
(ひとつに○)

1年間、一番多くヒヤリとした体験については、「交通事故」が38.8%と最も多く、次いで「転倒」が27.3%、「転落」が15.0%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

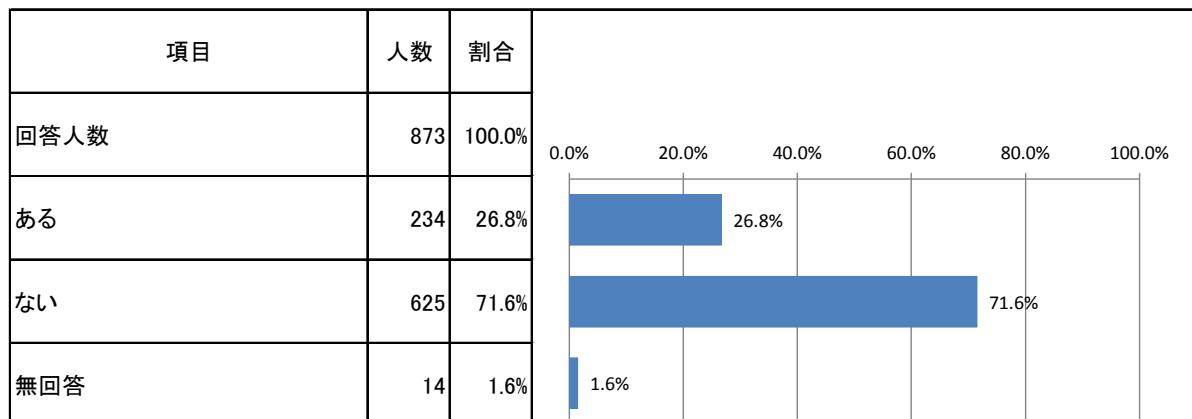
年齢別では、3歳以上の「交通事故」が49.6%、2歳以下の「転倒」が39.0%と最も高くなっている。

項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	374	100.0%	195	100.0%	177	100.0%	2	100.0%	118	100.0%	254	100.0%	2	100.0%
交通事故	145	38.8%	77	39.5%	67	37.9%	1	50.0%	17	14.4%	126	49.6%	2	100.0%
転倒	102	27.3%	51	26.2%	50	28.2%	1	50.0%	46	39.0%	56	22.0%	0	0.0%
転落	56	15.0%	33	16.9%	23	13.0%	0	0.0%	33	28.0%	23	9.1%	0	0.0%
おぼれる	17	4.5%	9	4.6%	8	4.5%	0	0.0%	7	5.9%	10	3.9%	0	0.0%
やけど	25	6.7%	9	4.6%	16	9.0%	0	0.0%	7	5.9%	18	7.1%	0	0.0%
窒息	10	2.7%	4	2.1%	6	3.4%	0	0.0%	3	2.5%	7	2.8%	0	0.0%
中毒	2	0.5%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.4%	0	0.0%
その他	15	4.0%	10	5.1%	5	2.8%	0	0.0%	4	3.4%	11	4.3%	0	0.0%
無回答	2	0.5%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%	0	0.0%

【乳幼児】

問 17 対象のお子さんは、この1年間に「事故やけが」の経験がありますか。
(ひとつに〇)

1年間、子どもが事故やけがをした経験については、「ある」が26.8%、「ない」が71.6%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「ない」が74.8%で、男の68.6%に比べてやや高くなっている。
年齢別では、大きな差異はみられない。

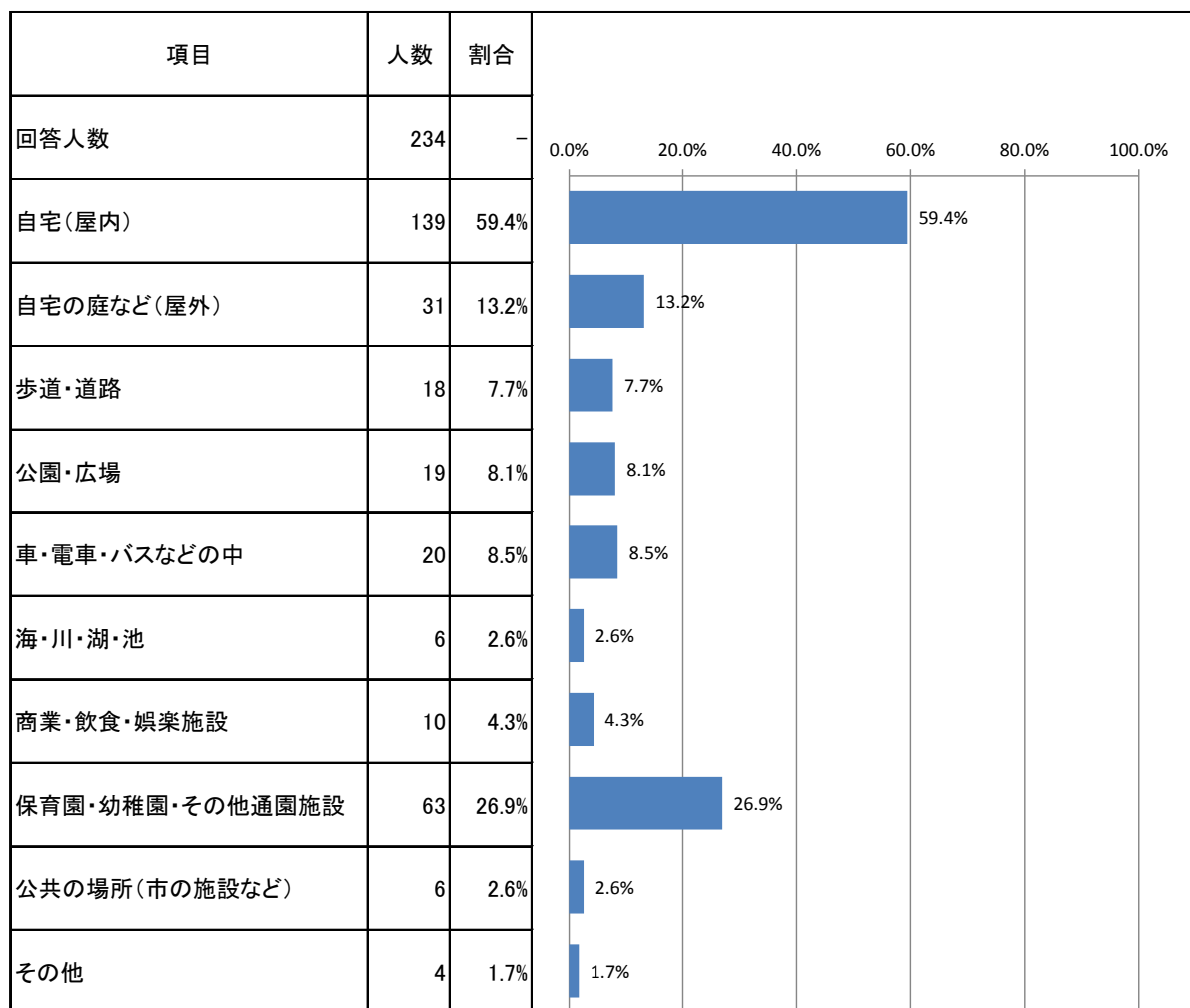
項目	回答人数		性別						年齢別					
			男		女		無回答		2歳以下		3歳以上		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	873	100.0%	449	100.0%	421	100.0%	3	100.0%	258	100.0%	610	100.0%	5	100.0%
ある	234	26.8%	129	28.7%	104	24.7%	1	33.3%	75	29.1%	159	26.1%	0	0.0%
ない	625	71.6%	308	68.6%	315	74.8%	2	66.7%	180	69.8%	440	72.1%	5	100.0%
無回答	14	1.6%	12	2.7%	2	0.5%	0	0.0%	3	1.2%	11	1.8%	0	0.0%

※問 17 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 18 対象のお子さんのこの 1 年間（平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月）にあった事故やけがについて、ア：場所、イ：種類、ウ：医療機関の受診の状況、エ：その事故やけがを未然に防ぐことができた可能性を、それぞれ 1 つずつ、該当する番号でご回答ください。事故やけがの経験が複数ある場合は、最大 2 件までご回答ください。

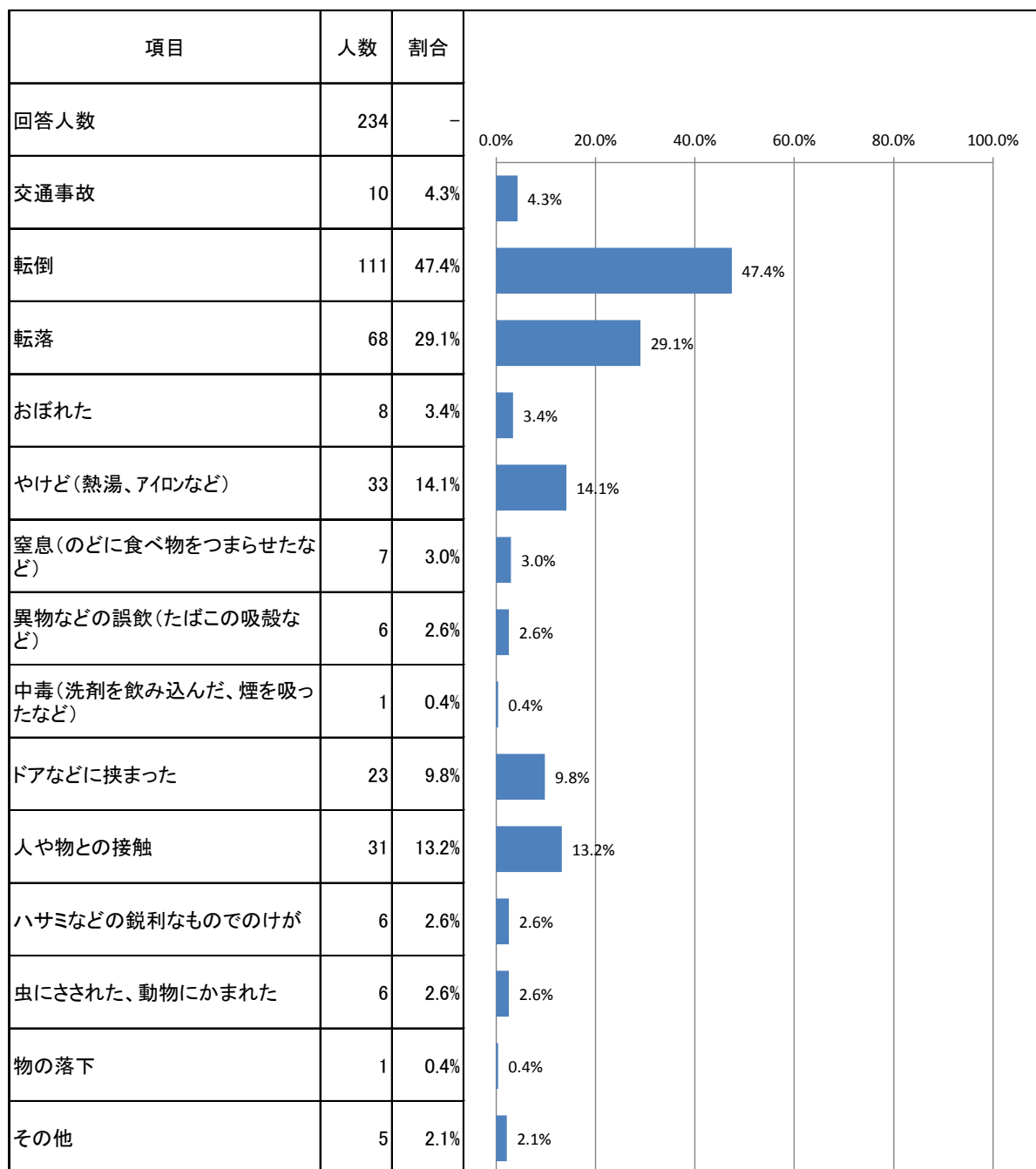
ア 事故やけがをした場所

事故やけがをした場所については、「自宅（屋内）」が 59.4%と最も多く、次いで「保育園・幼稚園・その他通園施設」が 26.9%、「自宅の庭など（屋外）」が 13.2%となっている。



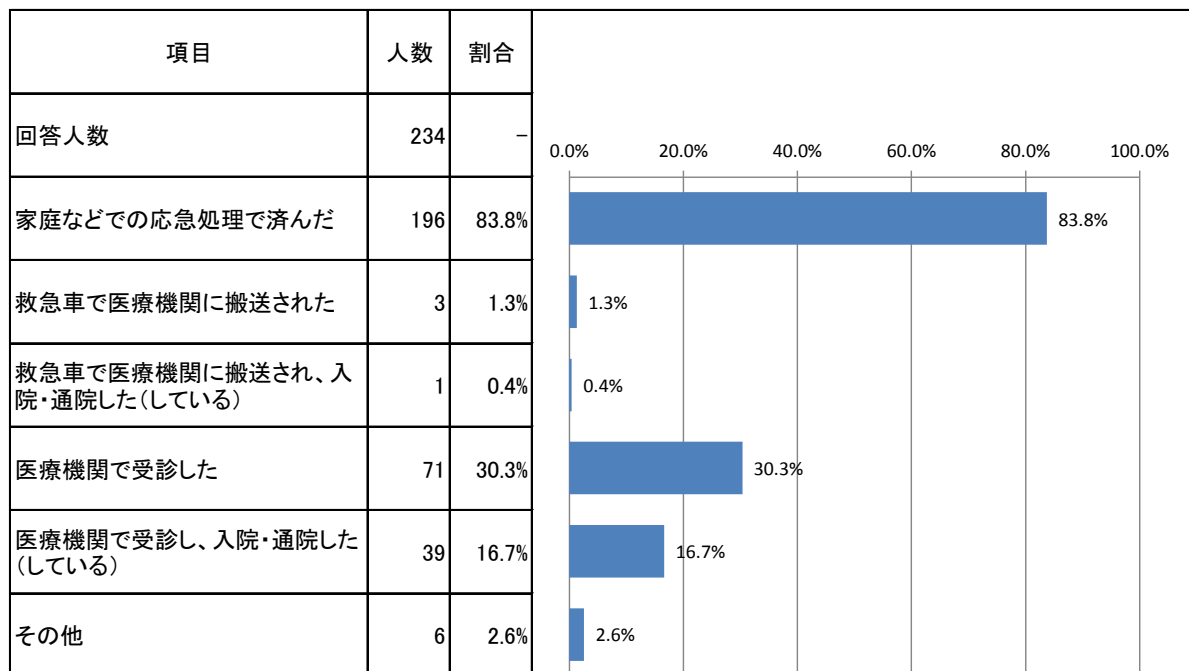
イ 事故やけがの種類

事故やけがの種類については、「転倒」が 47.4%と最も多く、次いで「転落」が 29.1%、「やけど（熱湯・アイロンなど）」が 14.1%となっている。



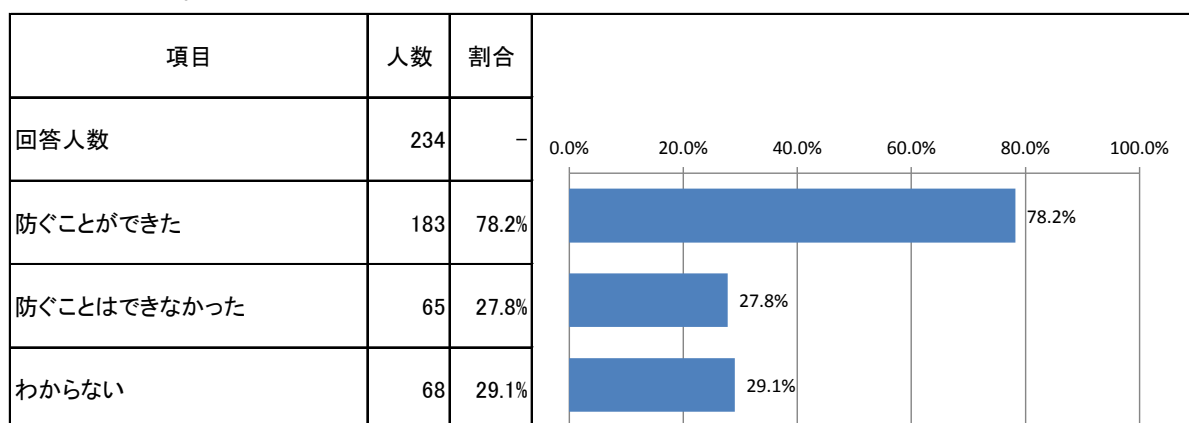
ウ 医療機関の受診

医療機関の受診については、「家庭などでの応急処理で済んだ」が 83.8%と最も多く、次いで「医療機関で受診した」が 30.3%、「医療機関で受診し、入院・通院した（している）」が 16.7%となっている。



エ 未然に防ぐことができた可能性

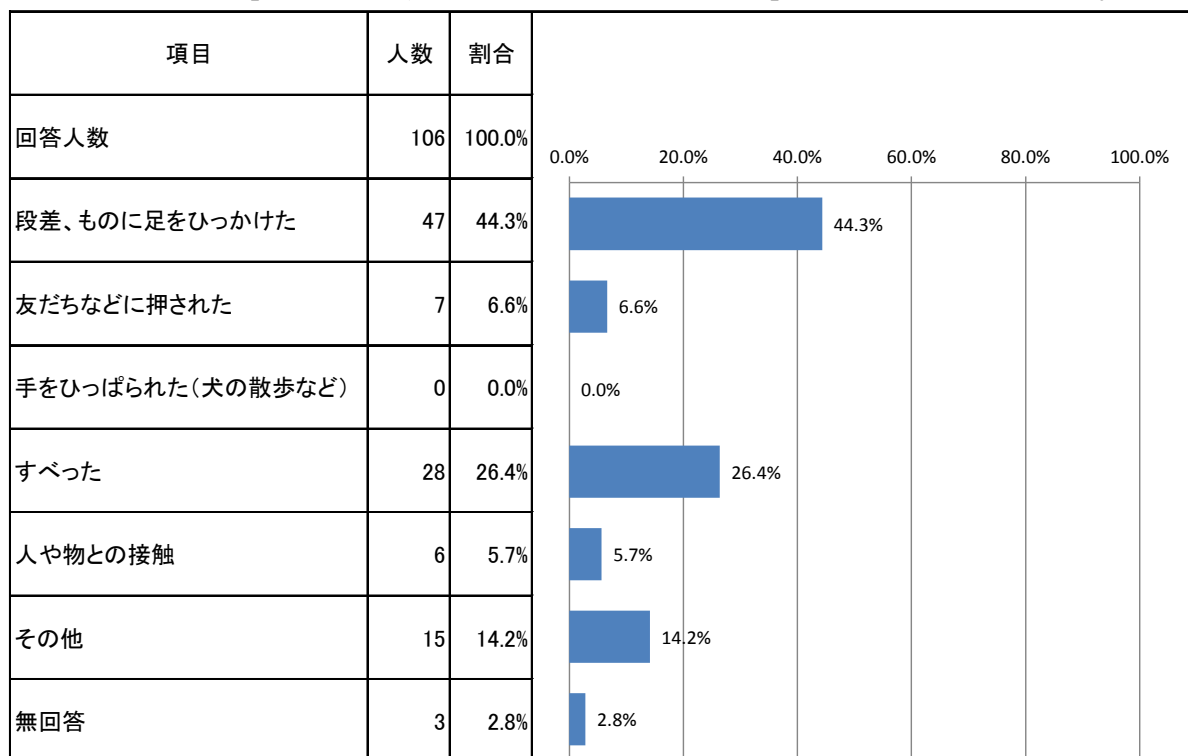
未然に防ぐことができた可能性については、「防ぐことができた」が 78.2%と最も多く、次いで「わからない」が 29.1%、「防ぐことはできなかった」が 27.8%となっている。



※問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『②転倒』とご回答された方にお聞きします。

問 18-1 転倒の原因（ひとつに〇）

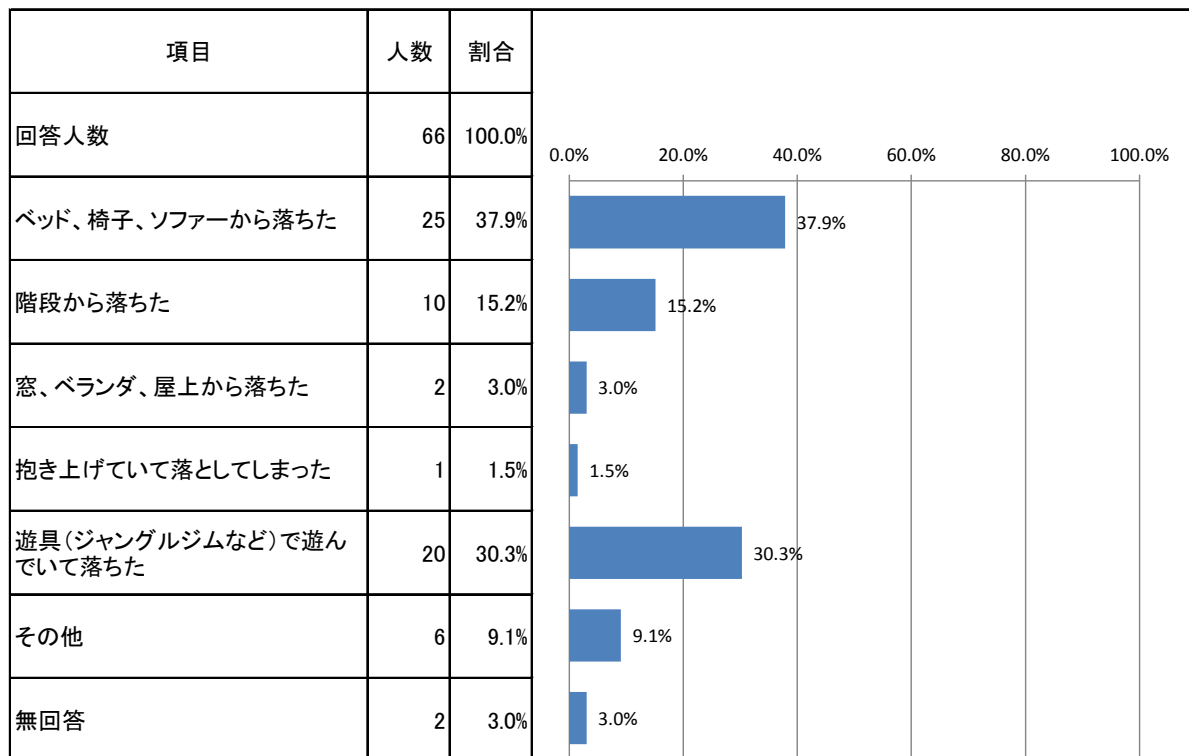
転倒の原因については、「段差、ものに足をひっかけた」が 44.3%と最も多く、次いで「すべった」が 26.4%、「友だちなどに押された」が 6.6%となっている。



※問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『③転落』とご回答された方にお聞きします。

問 18-2 転落の原因（ひとつに○）

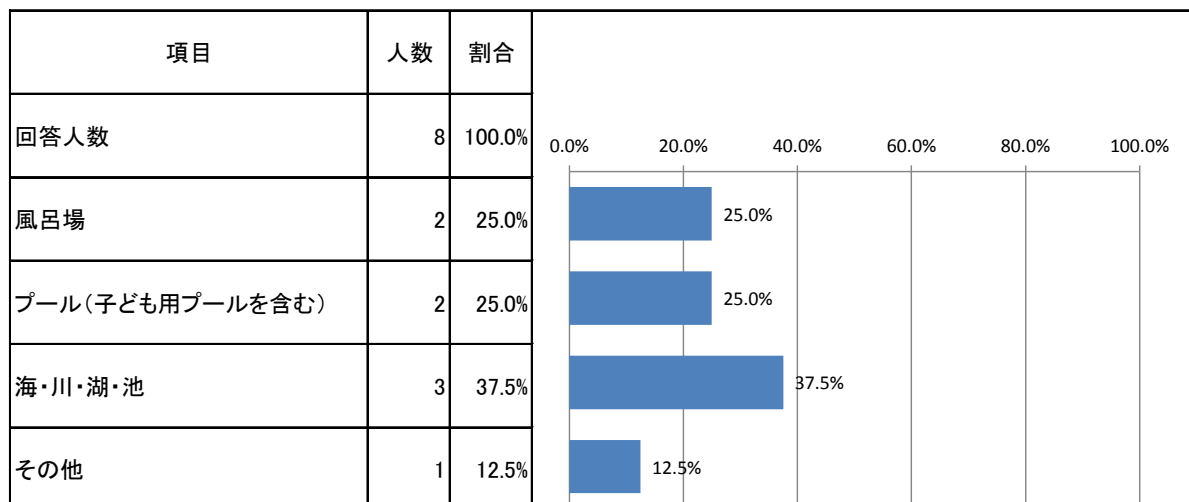
転落の原因については、「ベッド、椅子、ソファから落ちた」が 37.9%と最も多く、次いで「遊具（ジャングルジムなど）で遊んでいて落ちた」が 30.3%、「階段から落ちた」が 15.2%となっている。



※問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『④おぼれた』とご回答された方にお聞きします。

問 18-3 おぼれた場所（ひとつに○）

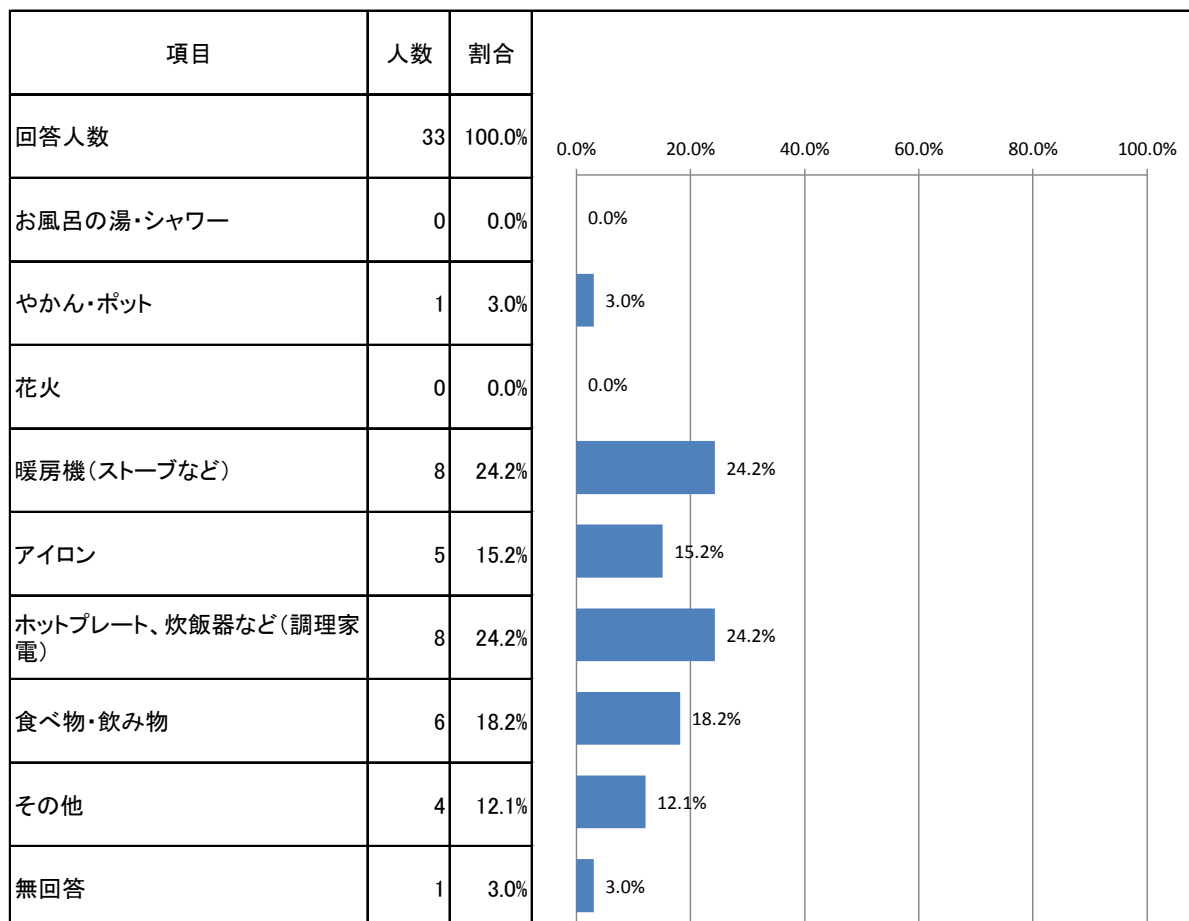
おぼれた場所については、「海・川・湖・池」が 37.5%と最も多く、次いで「風呂場」、「プール（子ども用プールを含む）」が 25.0%となっている。



※問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『⑤やけど』とご回答された方にお聞きします。

問 18-4 やけどの原因（ひとつに○）

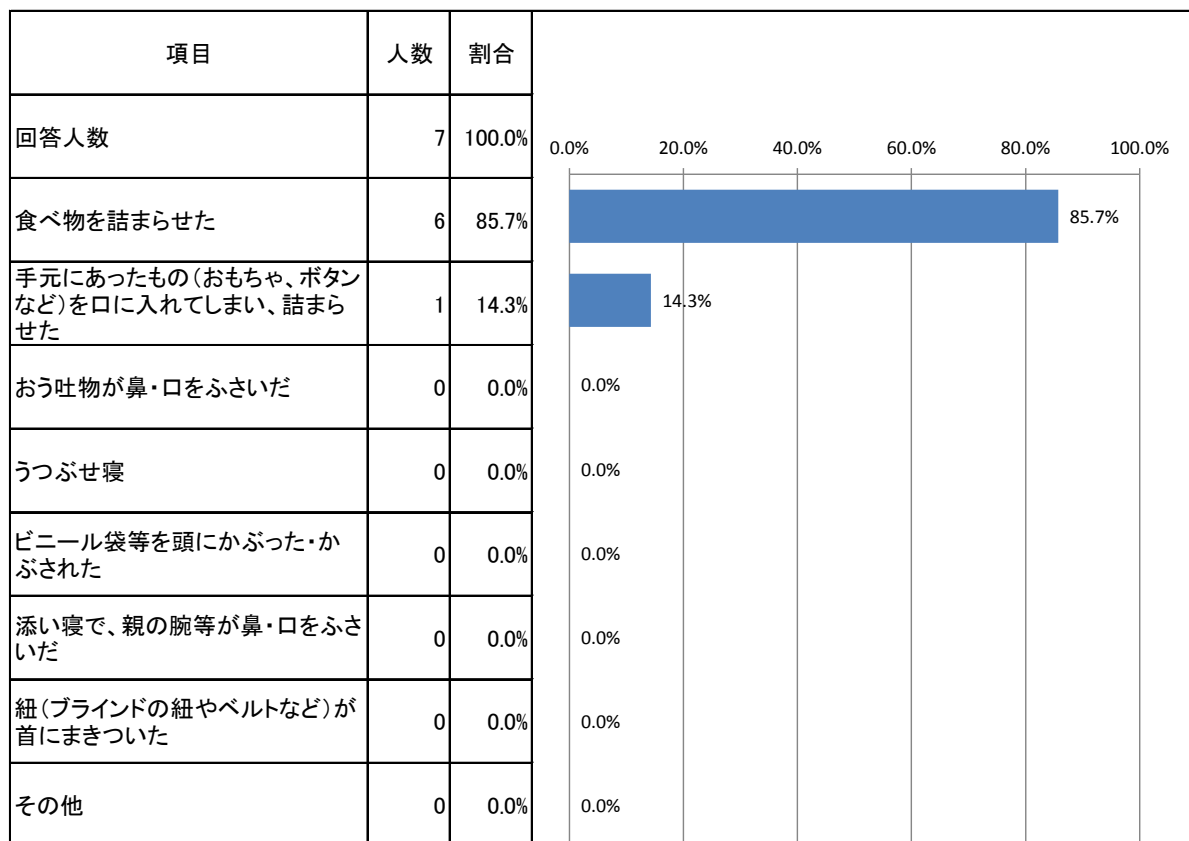
やけどの原因については、「暖房機（ストーブなど）」、「ホットプレート、炊飯器など（調理家電）」が 24.2%と最も多く、次いで「食べ物・飲み物」が 18.2%となっている。



※問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『⑥窒息』とご回答された方にお聞きします。

問 18-5 窒息の原因・状況（ひとつに○）

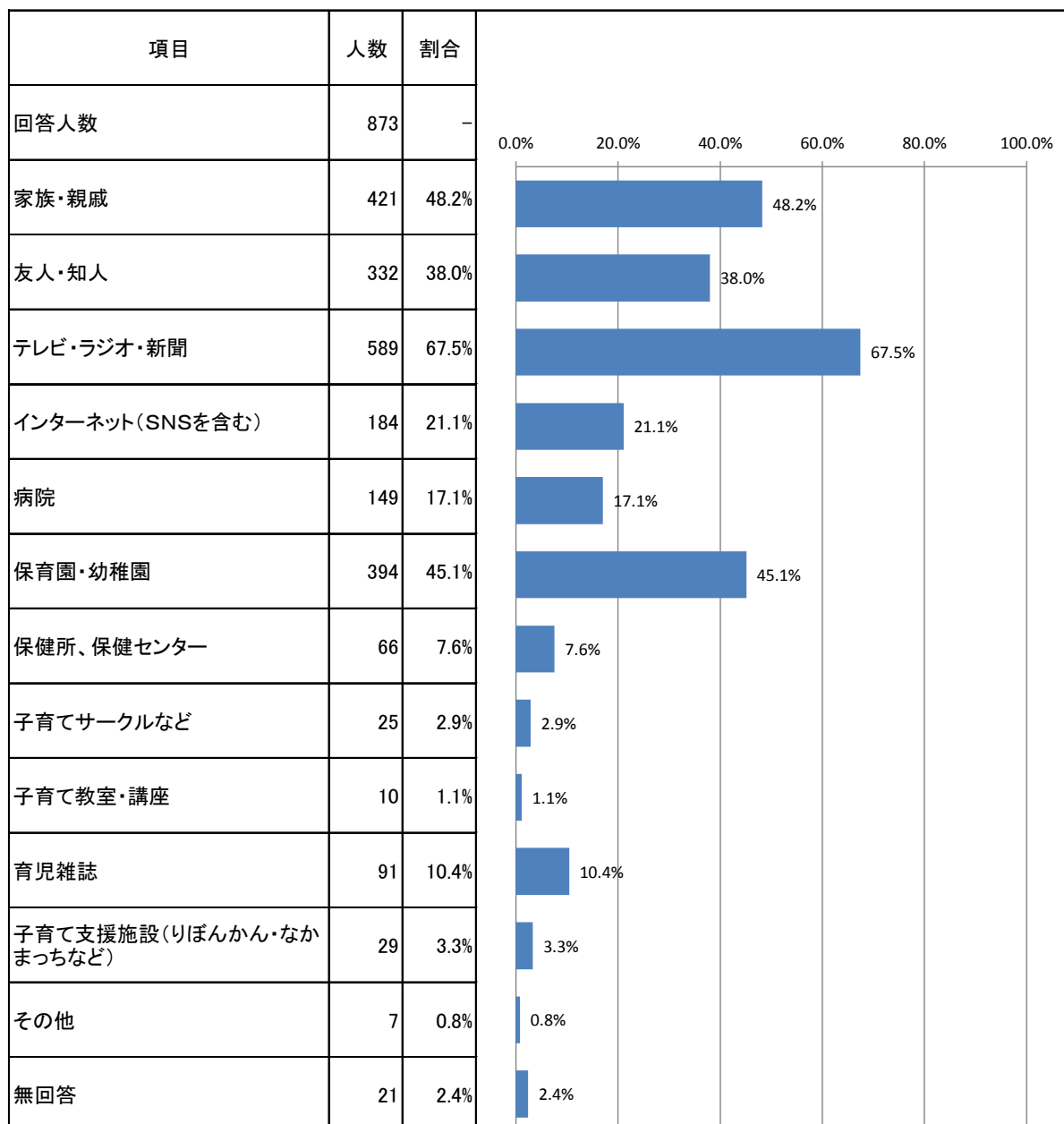
窒息の原因・状況については、「食べ物を詰ませた」が 85.7%と最も多く、次いで「手元にあったもの（おもちゃ、ボタンなど）を口に入れてしまい、詰ませた」が 14.3%となっている。



問 19 お子さんの事故やけがの予防に関する情報は、なに(どこ)から得ていますか。
 また、お子さんの事故やけがの予防のために、より充実して欲しいと思うものは、なに(どこ)ですか。(3つまで○)

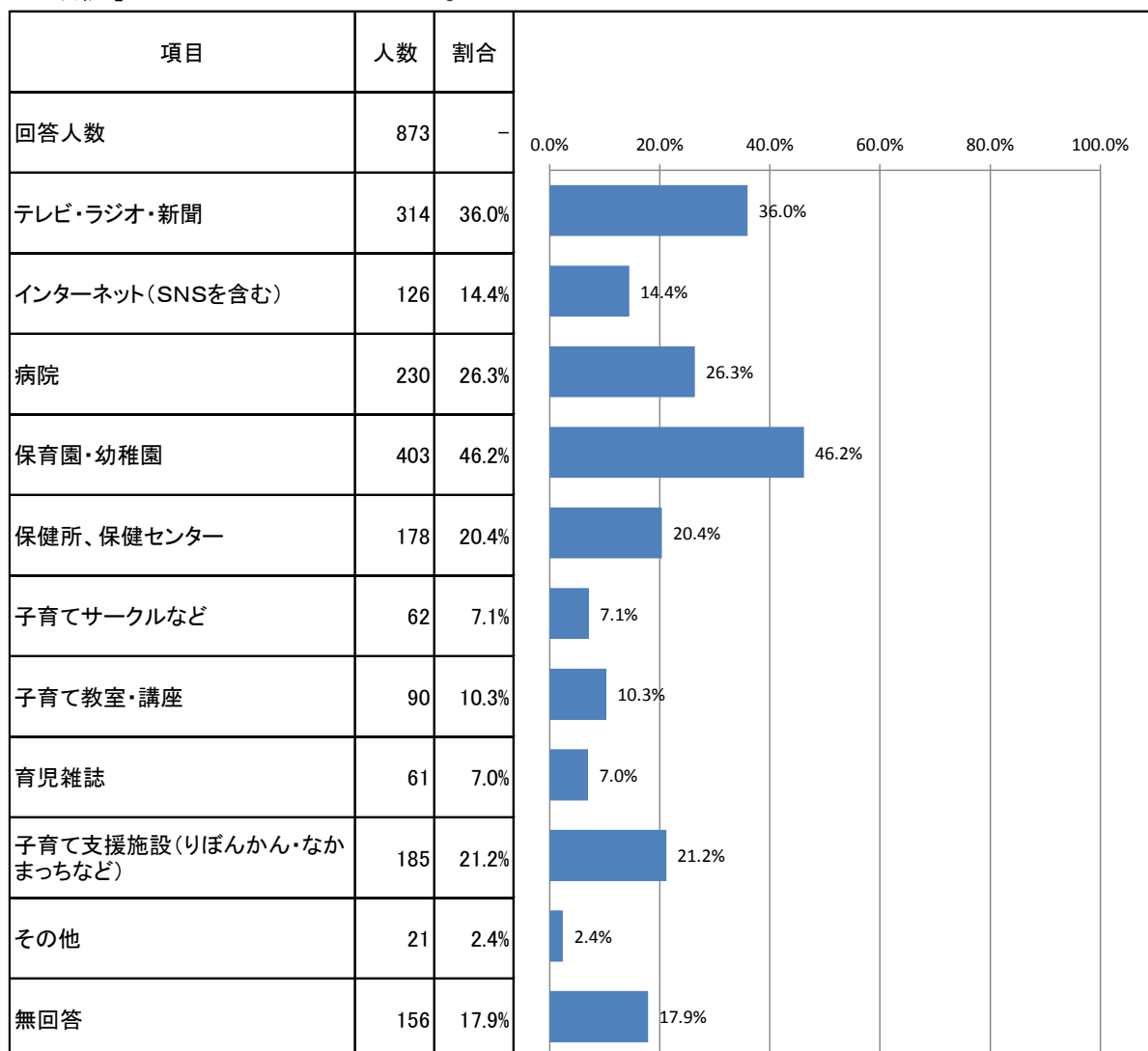
(現在、得ている)

子どもの事故やけがの予防に関する情報源については、「テレビ・ラジオ・新聞」が 67.5%と最も多く、次いで「家族・親戚」が 48.2%、「保育園・幼稚園」が 45.1%となっている。



(充実して欲しい)

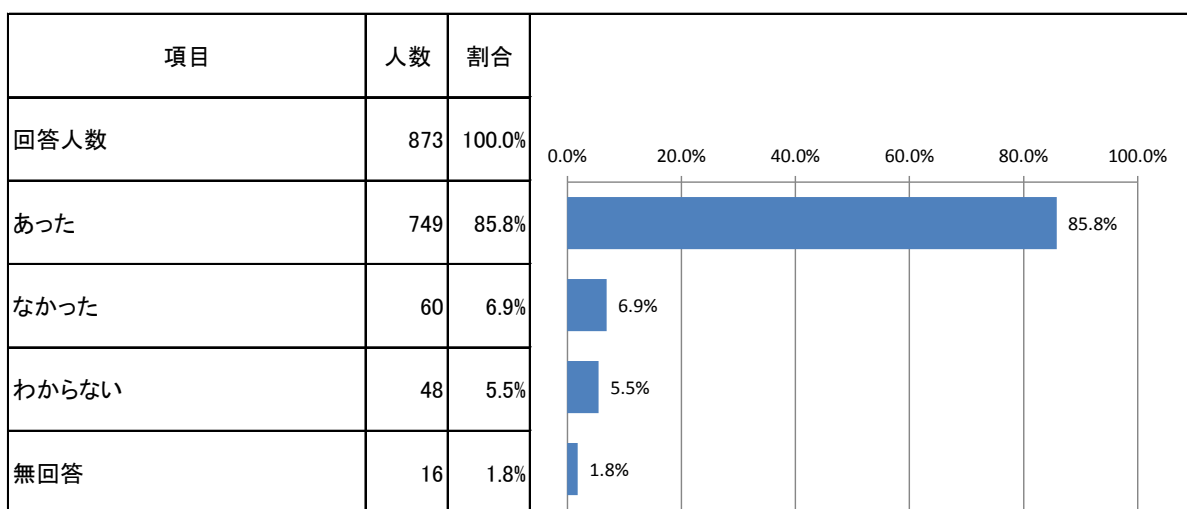
子どもの事故やけがの予防のために充実して欲しい情報源については、「保育園・幼稚園」が 46.2%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が 36.0%、「病院」が 26.3%となっている。



問 20 問 19 の情報を収集した後、事故やけがに関して、あなた（保護者）は対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ひとつに○）

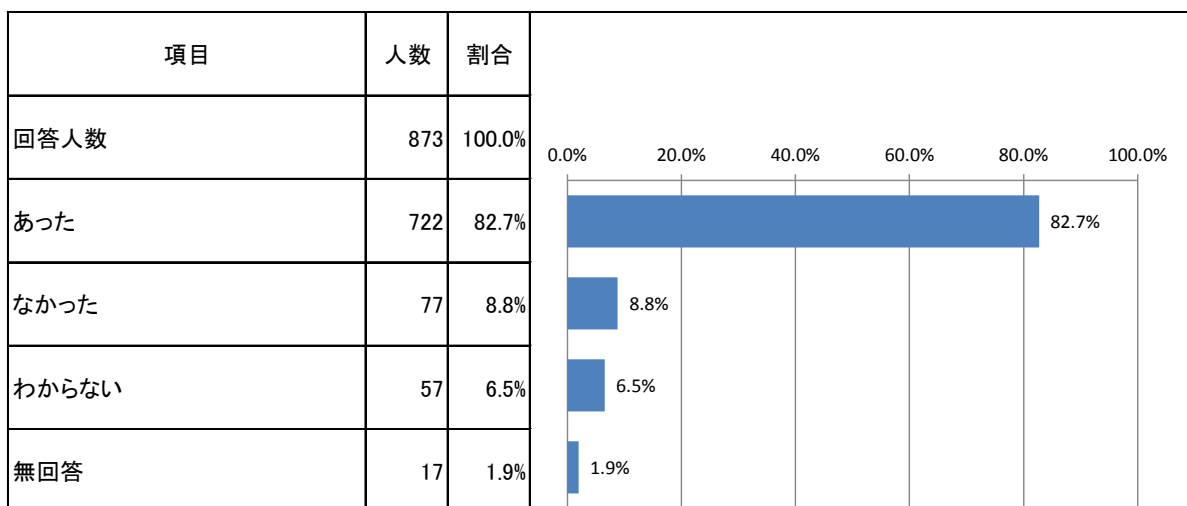
A 考え方の変化

情報収集後、子どもの事故やけがに対する保護者の考え方の変化については、「あった」が85.8%と最も多く、次いで「なかった」が6.9%、「わからない」が5.5%となっている。



B 行動の変化

情報収集後、子どもの事故やけがに対する保護者の行動の変化については、「あった」が82.7%と最も多く、次いで「なかった」が8.8%、「わからない」が6.5%となっている。

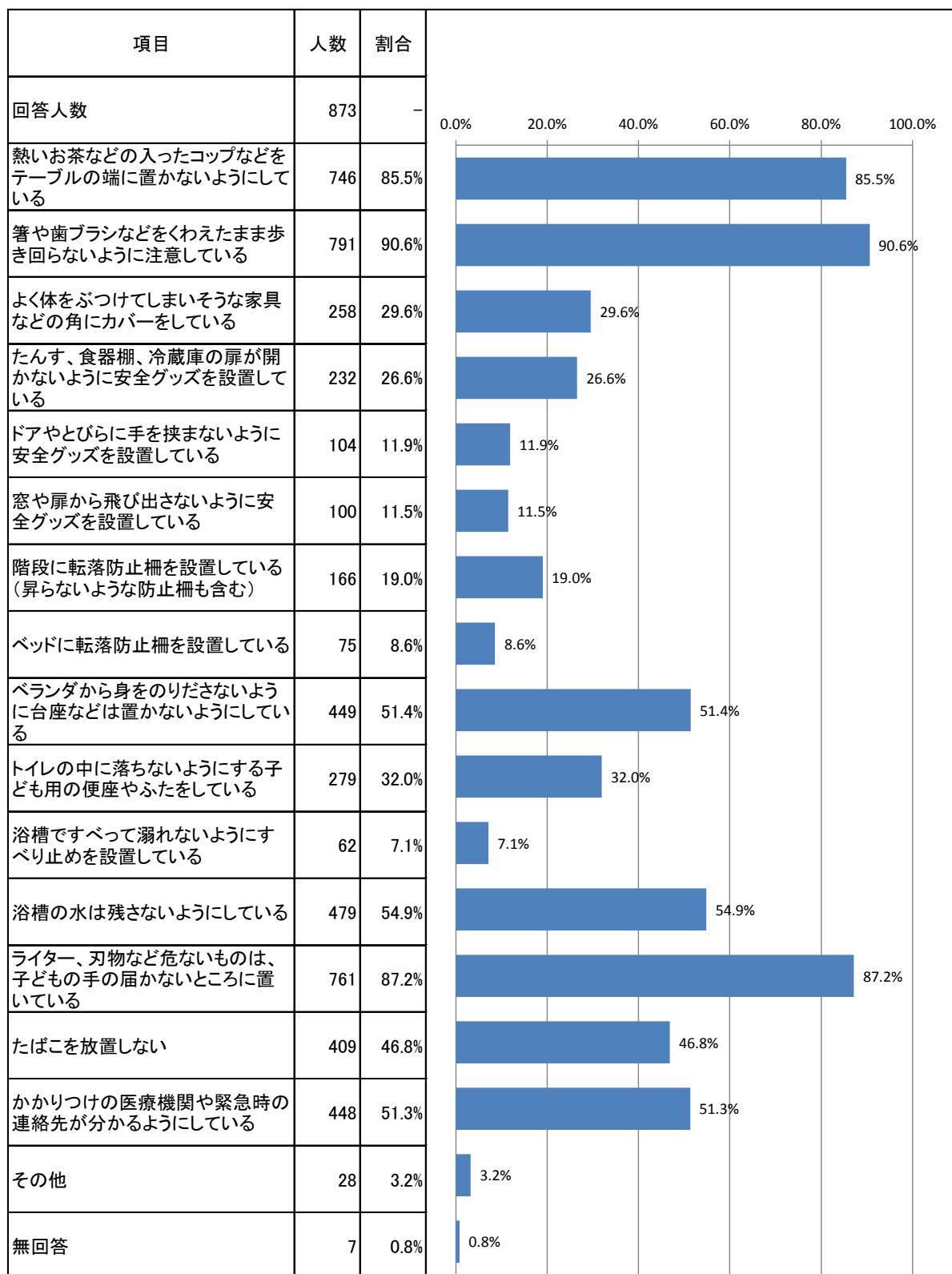


問 21 あなた(保護者)は、日頃からどのような子どもの安全対策をとっていますか。過去にとった対策についても、○をつけてください。

子どもの安全対策については、「箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないように注意している」が 90.6%と最も多く、次いで「ライター・刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いている」が 87.2%、「熱いお茶などの入ったコップなどをテーブルの端に置かないようにしている」が 85.5%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「キッチンに入らないように柵をしている」、「コンセントカバーをつけている」、「口に入りそうなおもちゃ・キャップは手が届かないようにしている」等が挙げられた。

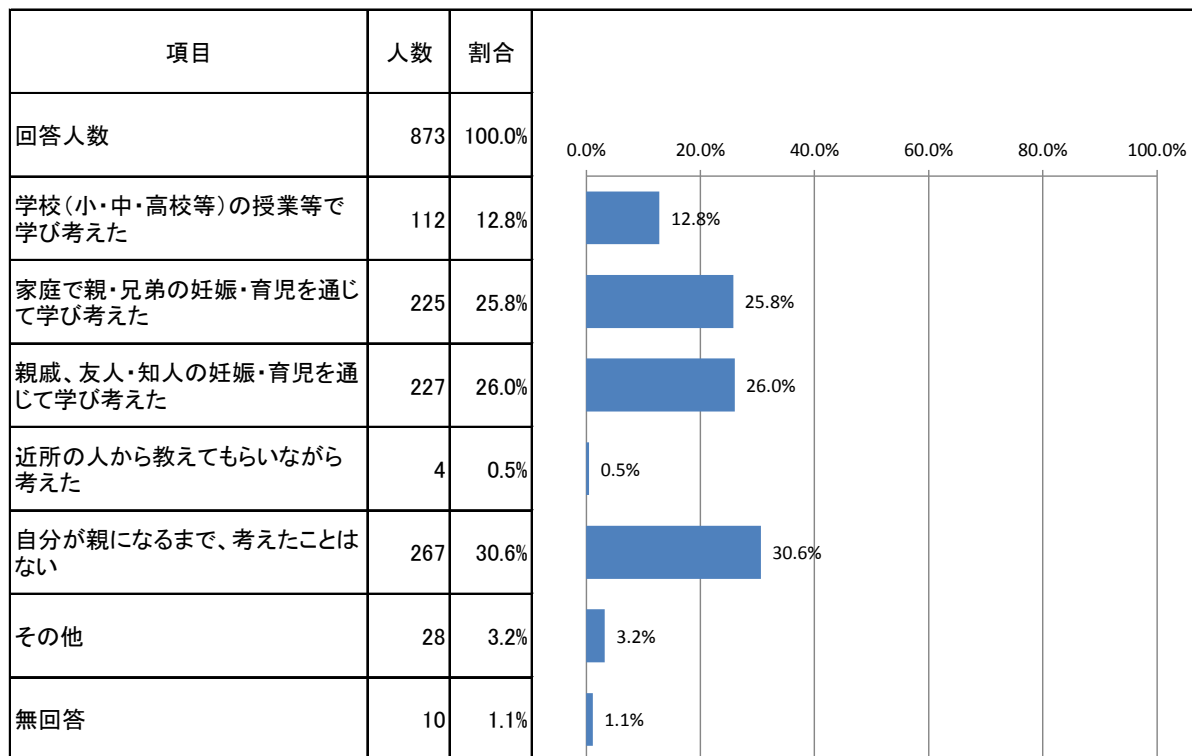
【乳幼児】



問 22 あなた（保護者）は、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて考える機会がありましたか。（ひとつに〇）

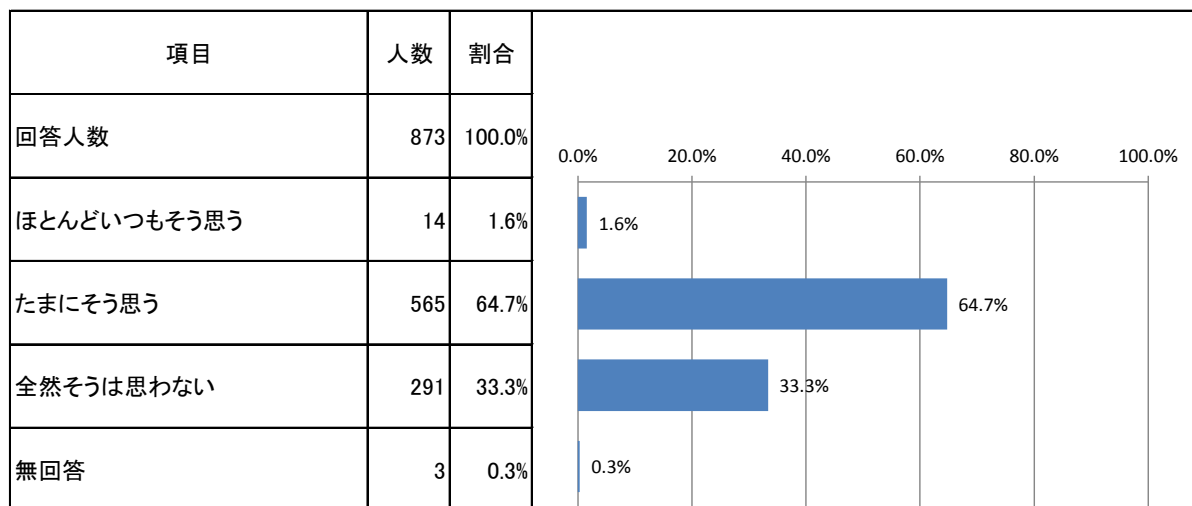
保護者が親になる前に妊娠や子育てのことを考える機会があったかについては、「自分が親になるまで考えたことはない」が 30.6%と最も多く、次いで「親戚・友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた」が 26.0%、「家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた」が 25.8%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「保健センターの教室」、「仕事を通して学び考えた」等が挙げられた。



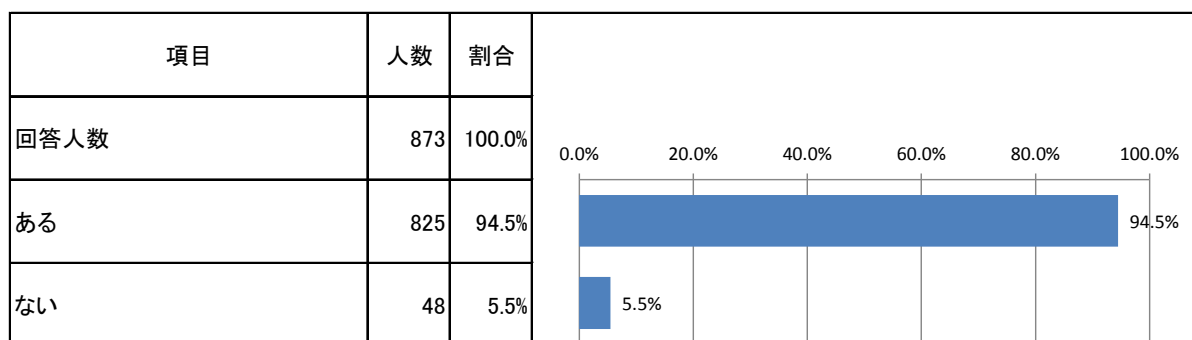
問 23 あなた（保護者）は、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。（ひとつに○）

保護者が子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがあるかについては、「たまにそう思う」が64.7%と最も多く、次いで「全然そうは思わない」が33.3%、「ほとんどいつもそう思う」が1.6%となっている。



問 24 あなた（保護者）は、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。（ひとつに○）

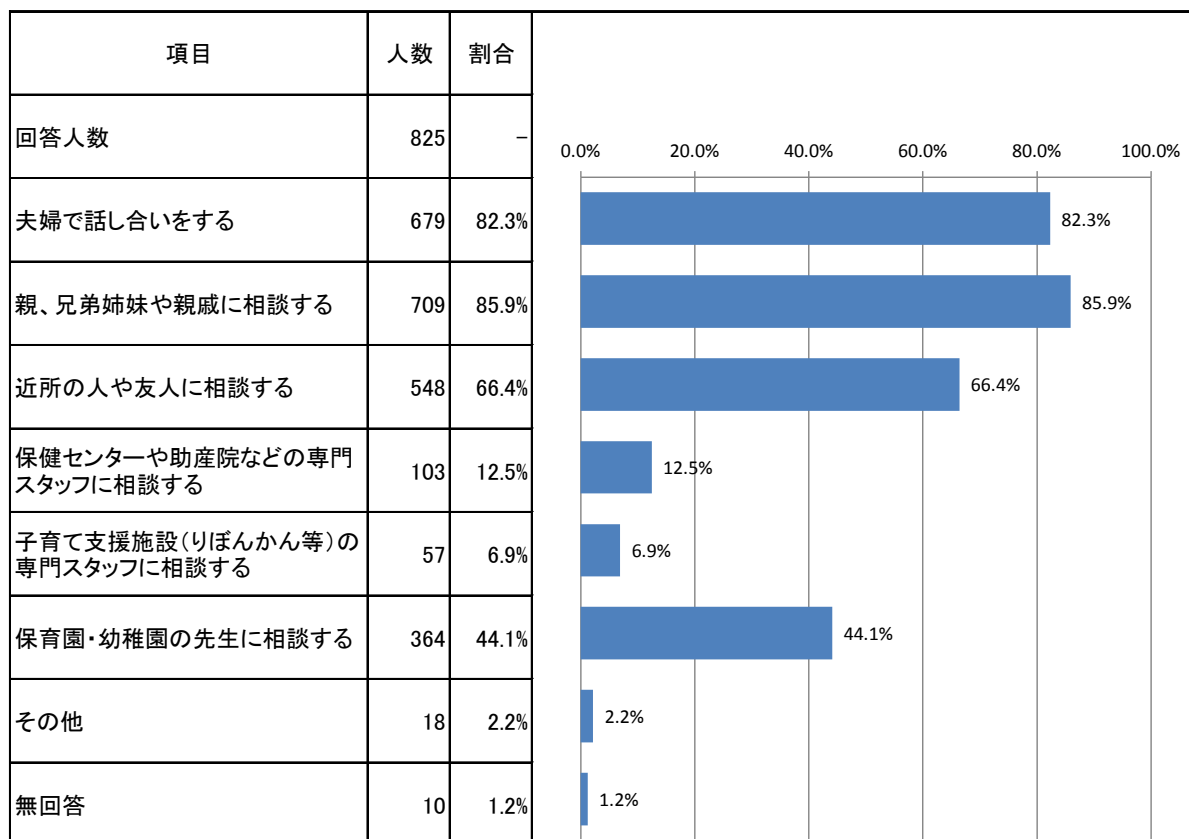
保護者が子育てで困ったときの相談先については、「ある」が94.5%、「ない」が5.5%となっている。



※問 24 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 25 子育てで困ったとき、誰（又はどこ）に相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

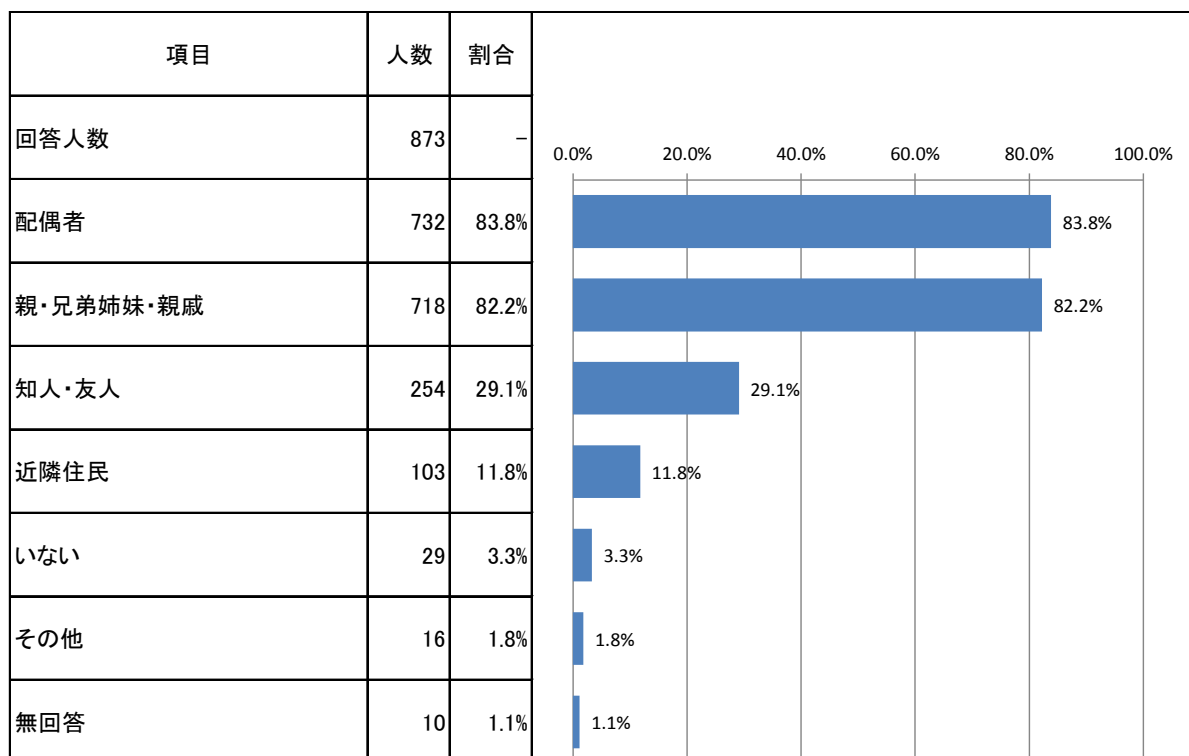
子育てで困ったときの具体的な相談先については、「親・兄弟姉妹や親戚に相談する」が 85.9%と最も多く、次いで「夫婦で話し合いをする」が 82.3%、「近所の人や友人に相談する」が 66.4%となっている。



※問 26 子育て中の親への支援についてお聞きします。

問 26-1 あなた（保護者）の子育てを手伝ってくれる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

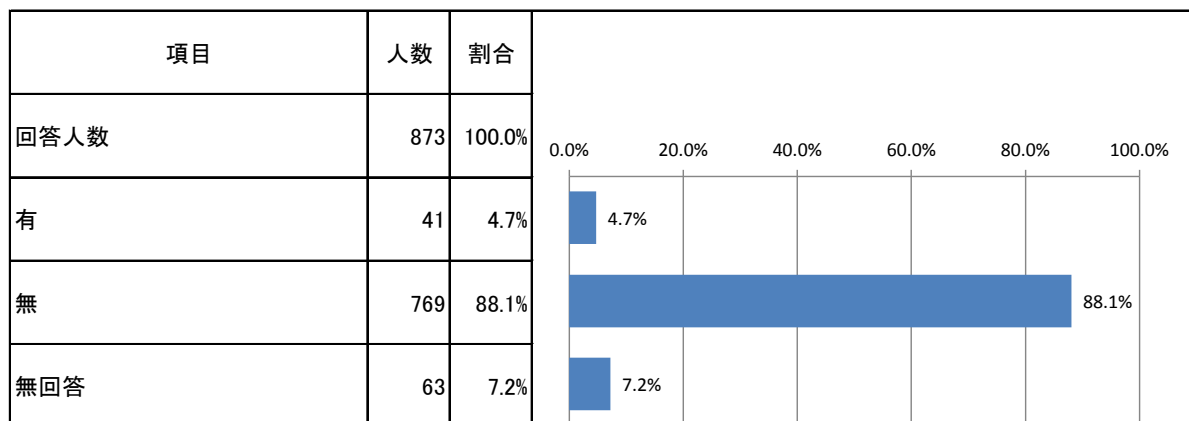
子育てを手伝ってくれる人については、「配偶者」が 83.8%と最も多く、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」が 82.2%、「知人・友人」が 29.1%となっている。



問 26-2 あなた（保護者）は、子どもの一時預かりの施設等を利用したことがありますか。（AからDの項目ごとにひとつに○）

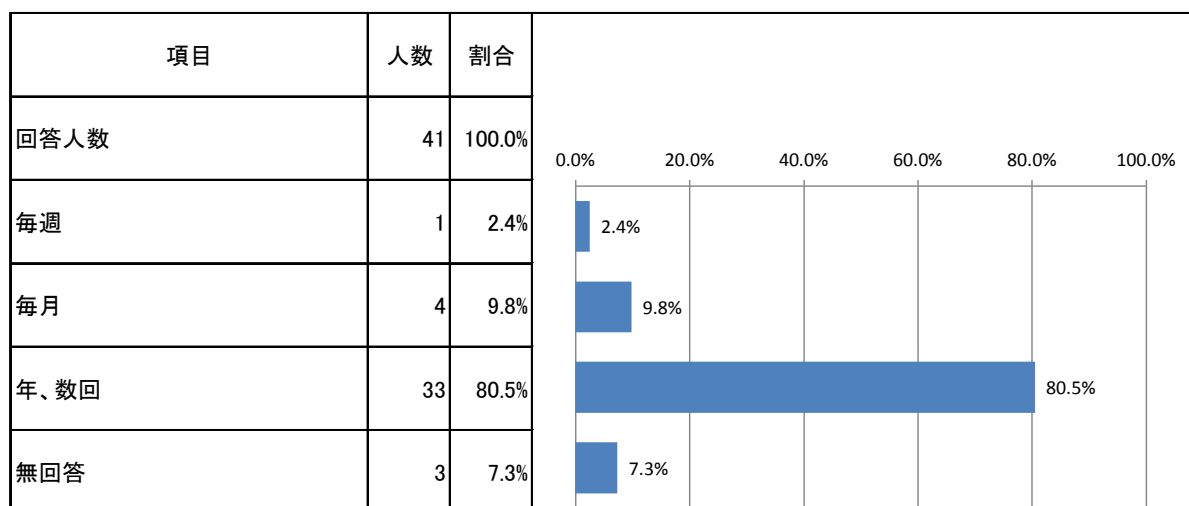
A ファミリー・サポート・センターの育児支援（利用の有無）

ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用状況については、「有」が4.7%、「無」が88.1%となっている。



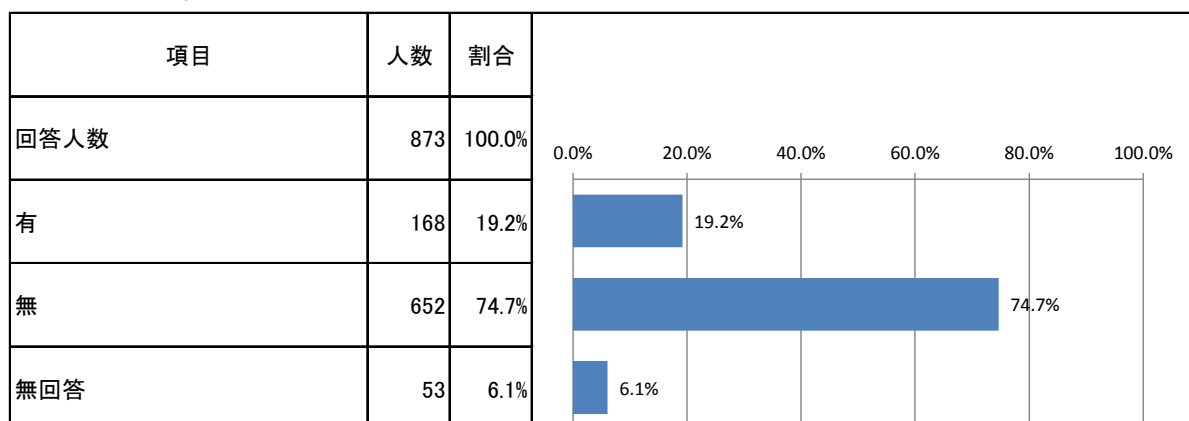
A ファミリー・サポート・センターの育児支援（利用頻度）

ファミリー・サポート・センターの育児支援の利用頻度については、「年、数回」が80.5%と最も多く、次いで「毎月」が9.8%、「毎週」が2.4%となっている。



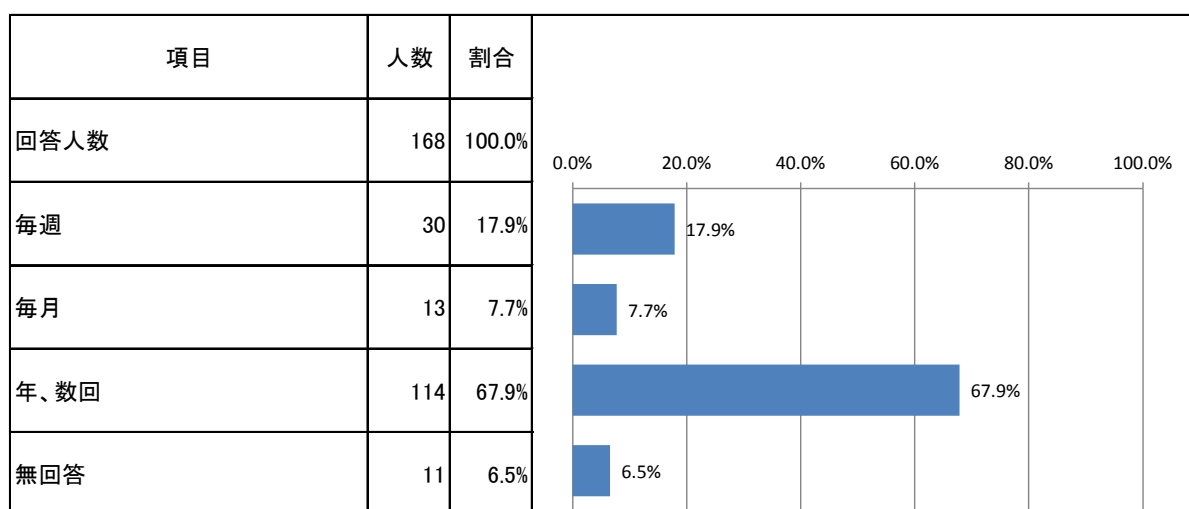
B 保育園の一時預かり（利用の有無）

保育園の一時預かりの利用状況については、「有」が 19.2%、「無」が 74.7%となっている。



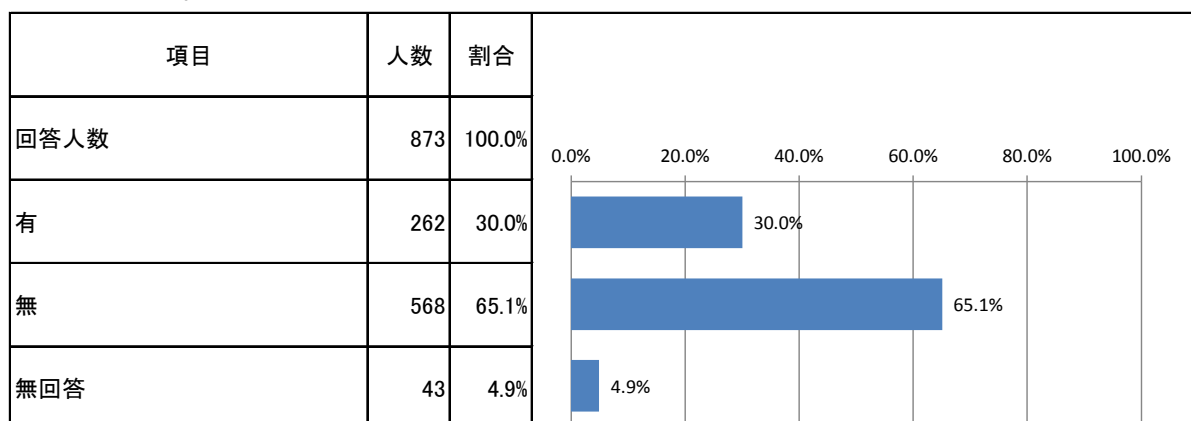
B 保育園の一時預かり（利用頻度）

保育園の一時預かりの利用頻度については、「年、数回」が 67.9%と最も多く、次いで「毎週」が 17.9%、「毎月」が 7.7%となっている。



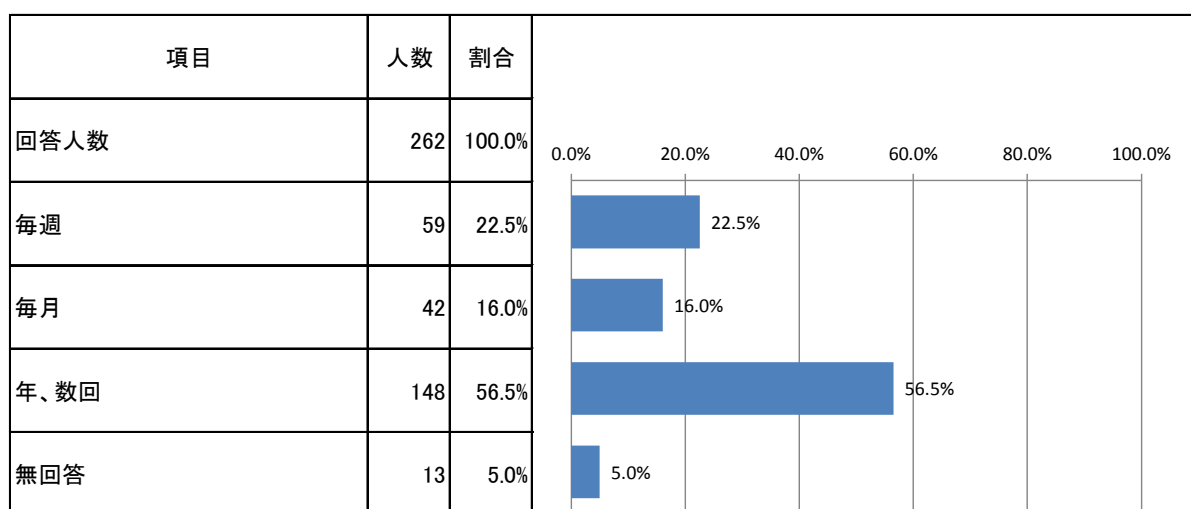
C 幼稚園の預かり保育（利用の有無）

幼稚園の預かり保育の利用状況については、「有」が 30.0%、「無」が 65.1%となっている。



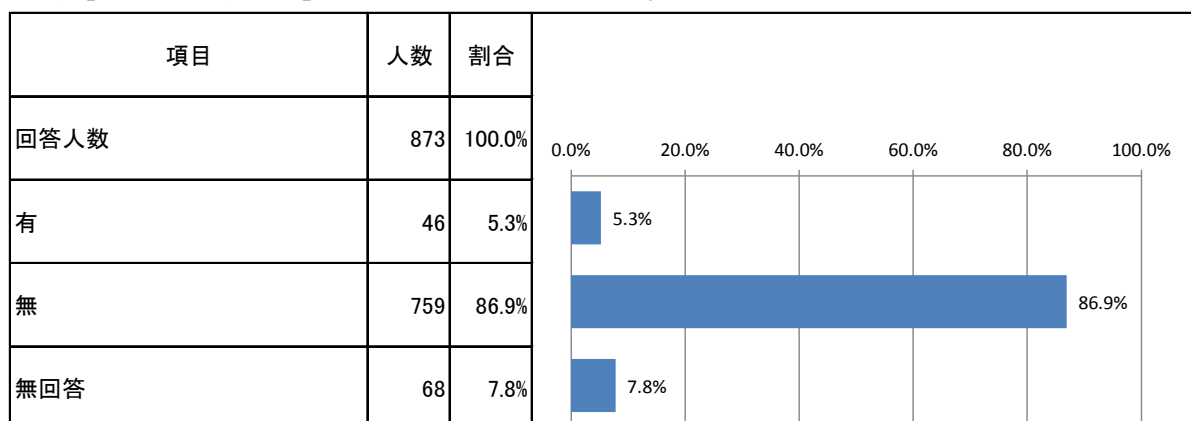
C 幼稚園の預かり保育（利用頻度）

幼稚園の預かり保育の利用頻度については、「年、数回」が 56.5%と最も多く、次いで「毎週」が 22.5%、「毎月」が 16.0%となっている。



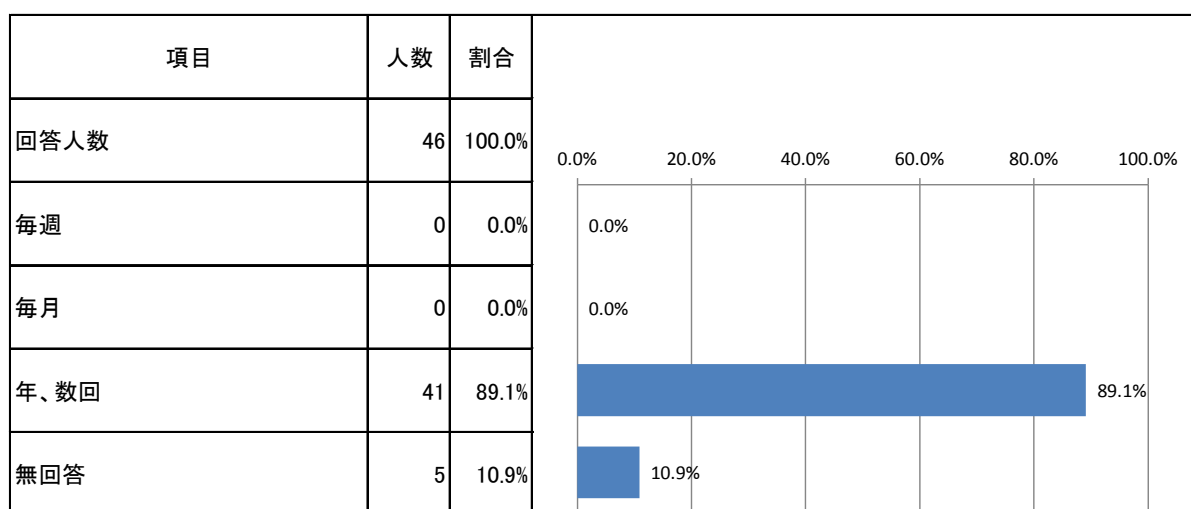
D すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かり（利用の有無）

すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用状況については、「有」が5.3%、「無」が86.9%となっている。



D すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かり（利用頻度）

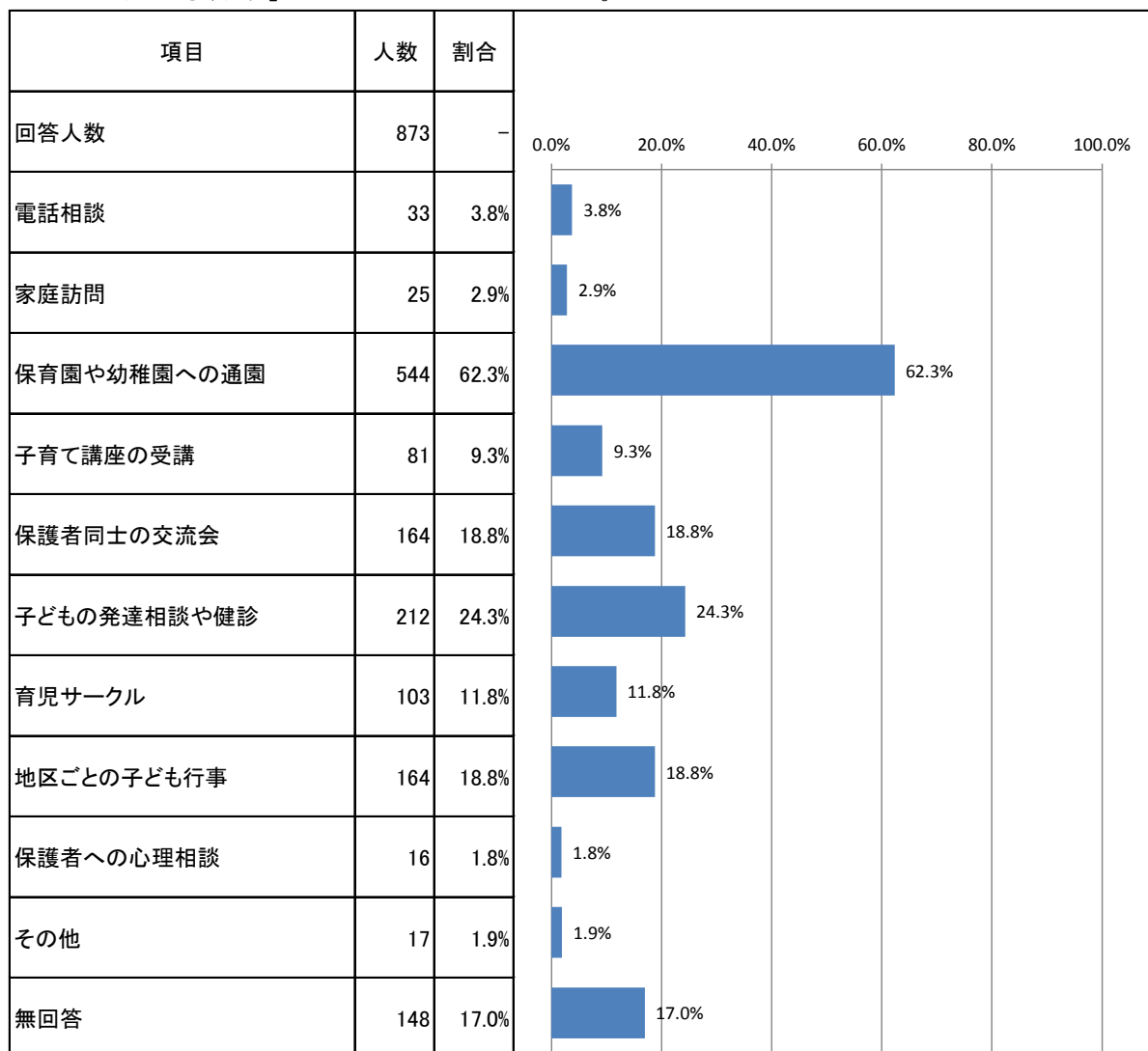
すこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かりの利用頻度については、「年に数回」が89.1%となっている。



問 27 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。
 また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。
 （最も希望するもの3つに○）

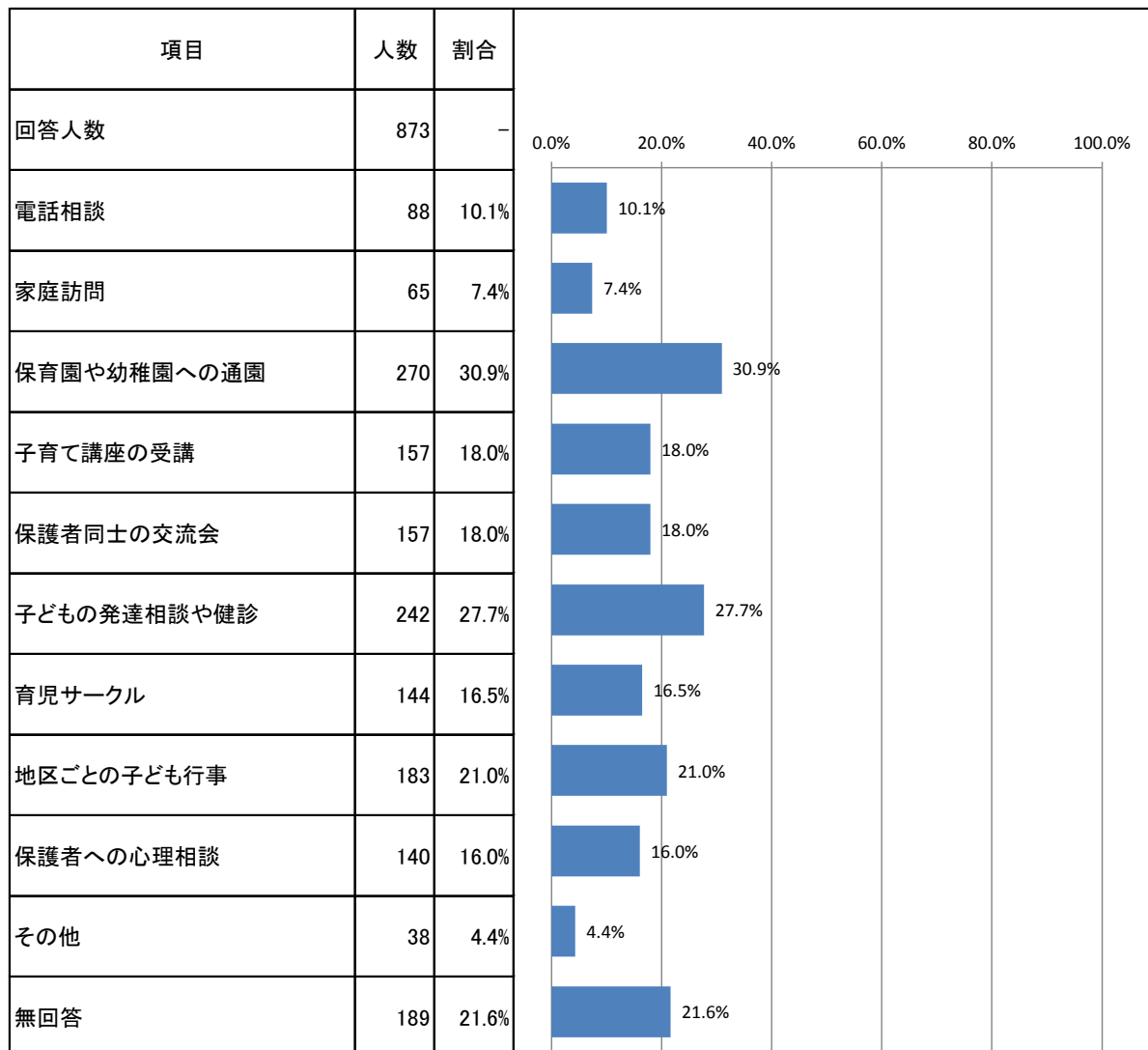
（現在、活用している）

子育て支援の活用状況については、「保育園や幼稚園への通園」が 62.3%と最も多く、次いで「子どもの発達相談や健診」が 24.3%、「保護者同士の交流会」、「地区ごとの子ども行事」が 18.8%となっている。



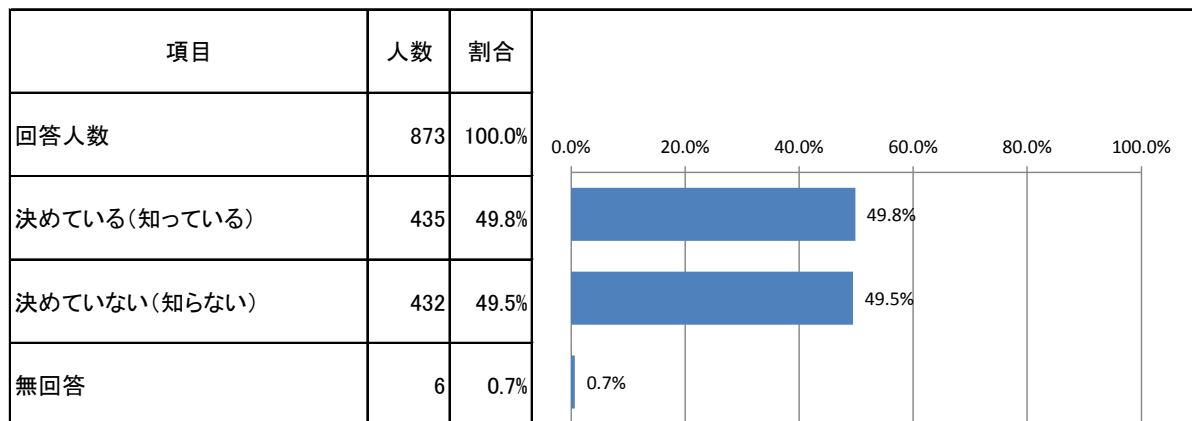
(充実して欲しい)

充実して欲しい子育て支援については、「保育園や幼稚園への通園」が 30.9%と最も多く、次いで「子どもの発達相談や健診」が 27.7%、「地区ごとの子ども行事」が 21.0%となっている。



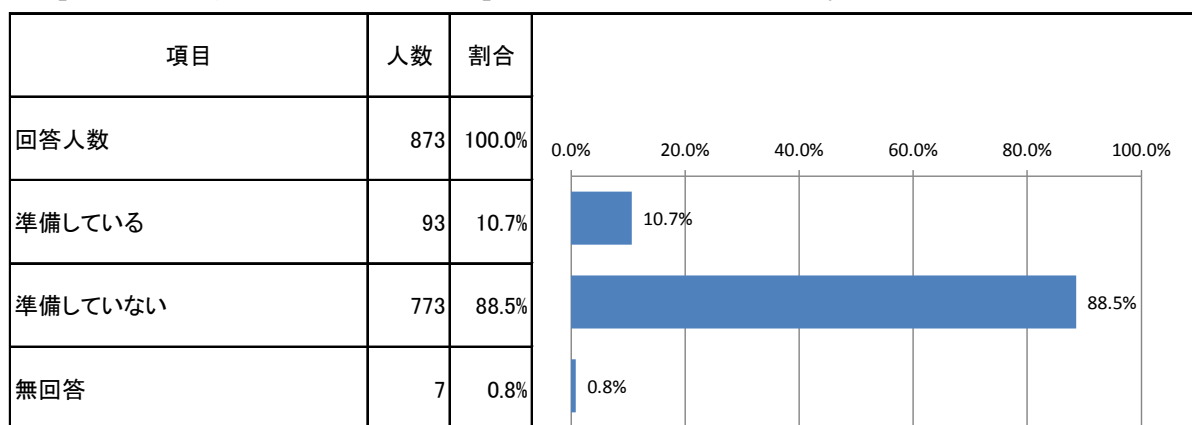
**問 28 あなた（保護者）は、避難する場所を決めていますか。
（または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。（ひとつに〇）**

自宅に一番近い指定避難所の把握については、「決めている（知っている）」が 49.8%、「決めていない（知らない）」が 49.5%となっている。



問 29 お子さんのための災害時の非常持ち出し品を準備していますか。（ひとつに〇）

子どものために災害時の非常持ち出し品を準備しているかについては、「準備している」が 10.7%、「準備していない」が 88.5%となっている。



問 30 お子さんと避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。
(ひとつに○)

子どもと避難所に避難した場合に一番不安なことについては、「食事」が 41.8%と最も多く、次いで「衛生面」が 20.8%、「トイレ」が 14.1%となっている。

